

第4章 流域別にみるみどりの方向性

本県のみどりは、山地か海岸まで連続する河川を軸として、樹林地、農地、市街地のみどりが存在しています。この河川を軸とする自然環境のまとまりは「流域」と呼ばれ、生き物の暮らしの基盤であり、本県の産業を支える森から海までの水の循環の基礎を成しています。わたしたちの暮らしとも密接に結びつき、習俗や信仰を支えるとともに、近年頻発化する豪雨災害の解決策としても流域全体での対策が重要となっています。

この本県における流域の重要性を踏まえ、県や市町村、事業者や活動団体が、流域内のみどりの分布やつながりを捉えながら、みどりの取組を展開できるよう、流域の特徴のみどりの方向性を整理します。

①地域区分

流域を基本単位として、複数市町村の都市機能の一体性や流域治水協議会の設置単位を考慮して、県内を11の地域に区分しました。本計画では、この区分による地域を「流域地域」（一級河川の場合は、水系地域）と呼称します。

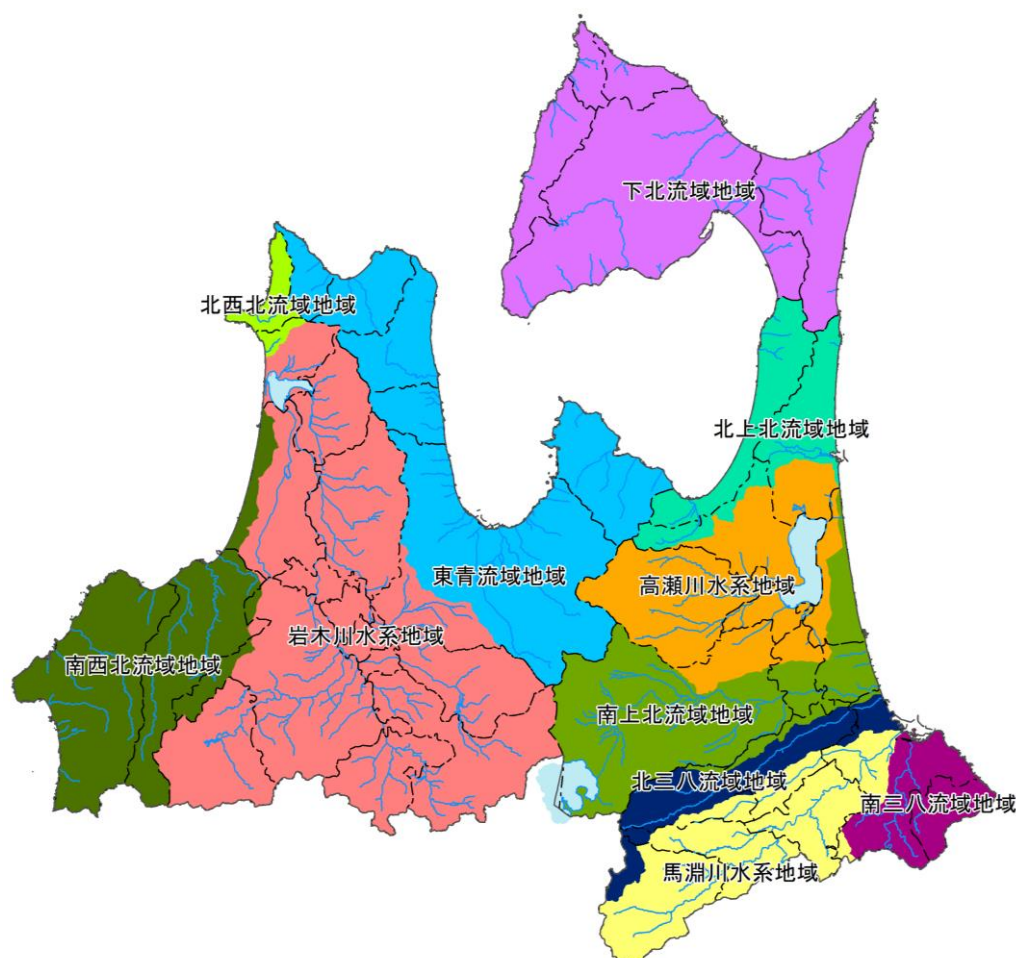


図 地域区分

②地域を構成する市町村

地域区分	構成市町村
1. 岩木川水系地域	弘前市、黒石市、平川市、五所川原市、つがる市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町
2. 馬淵川水系地域	八戸市、三戸町、南部町、田子町、新郷村、五戸町
3. 高瀬川水系地域	十和田市、三沢市、七戸町、六戸町、東北町、おいらせ町、六ヶ所村
4. 東青流域地域	青森市、今別町、平内町、蓬田村、外ヶ浜町
5. 北三八流域地域	八戸市、田子町、三戸町、五戸町、新郷村
6. 南三八流域地域	八戸市、階上町
7. 北西北流域地域	五所川原市、中泊町
8. 南西北流域地域	弘前市、つがる市、深浦町、鱒ヶ沢町
9. 北上北流域地域	野辺地町、七戸町、横浜町、六ヶ所村
10. 南上北流域地域	十和田市、三沢市、八戸市、五戸町、六戸町、おいらせ町
11. 下北流域地域	むつ市、佐井村、大間町、風間浦村、東通村

③「流域別にみるみどりの方向性」の狙い

市町村がみどりの取組を立案する上では、各市町村が位置する地域の方向性を参照し、市町村内及び周辺市町村とのつながりや資源の分布等を捉えながら検討を進めることを期待します。

県民や事業者、活動団体等は、自身に身近な生活域周辺のみならず、上流から下流まで、生活に恵みをもたらしているみどりのつながりを認識しながら、みどりの活動に取り組むとともに、生活域から離れた場所にある山林や農地、海岸等における活動にも参画していくことを期待します。

1

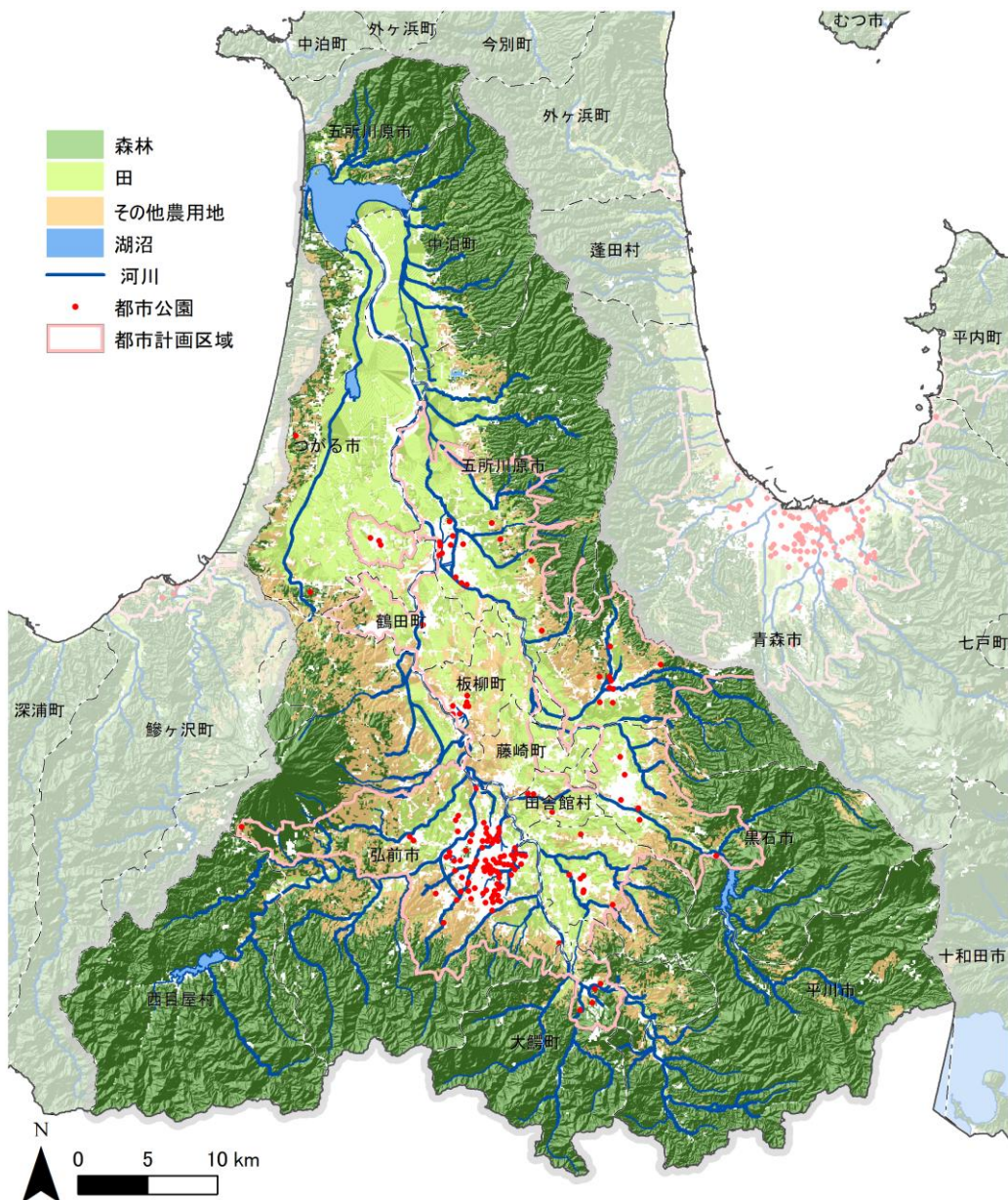
岩木川水系地域

1

地域の特徴

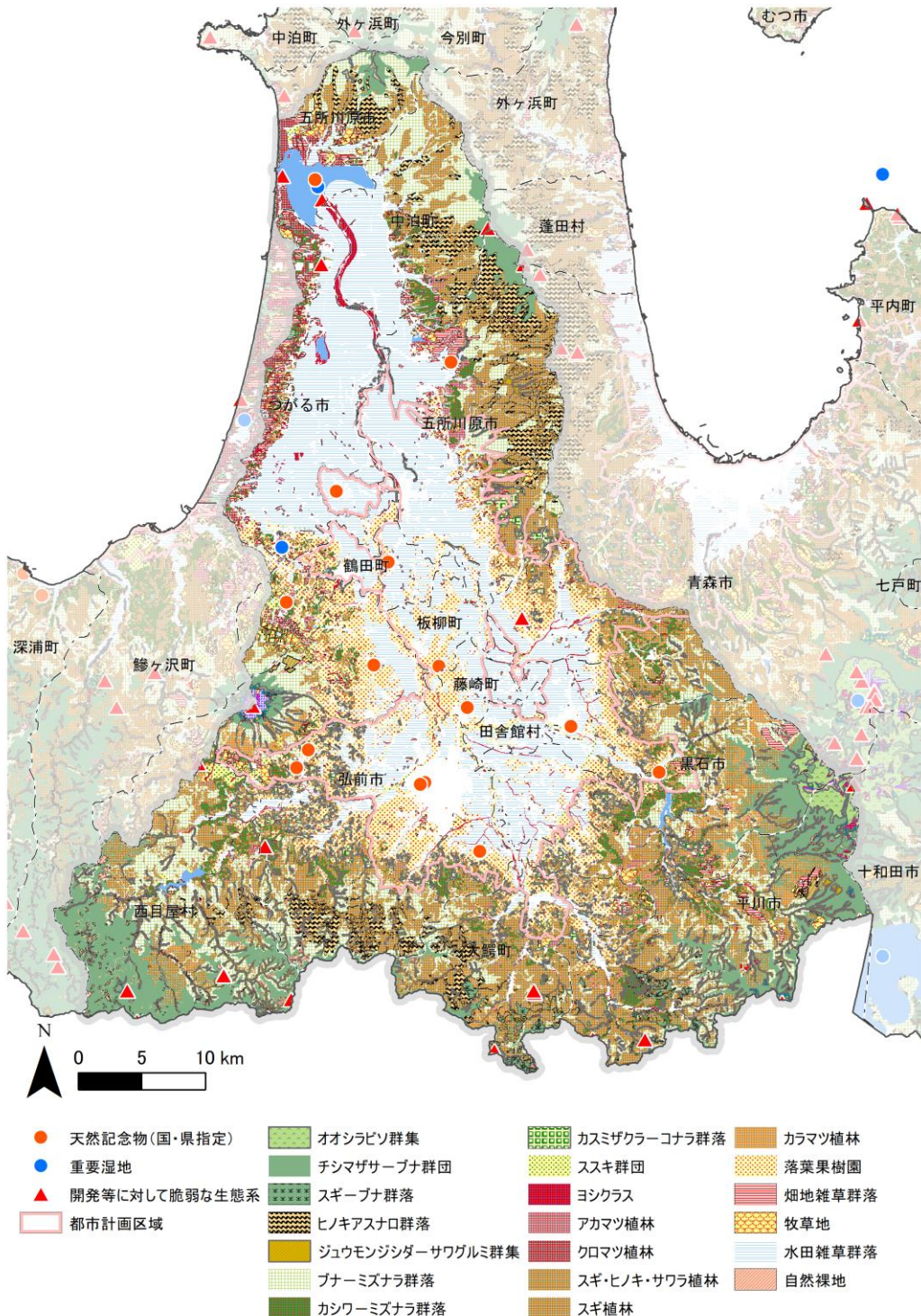
①みどりの構造

- ・白神山地に端を発する岩木川が津軽平野を通り、十三湖へと注いでいます。津軽平野を岩木山、白神山地、奥羽山脈、津軽山地が取り囲んでいます。岩木川の中・下流部では、水田や果樹園をはじめとする広大な農地が、背景となる山地、岩木川と共にふるさとの景観を構成しています。
- ・弘前市内には弘前城が含む弘前公園（鷹揚公園）や、猿賀神社や国の名勝・盛美園を有する猿賀公園など、歴史・文化と一体となった特徴ある公園が多く整備されています。また大鰐町には、県内で最大規模の広域公園であるあじゅら公園が整備されています。



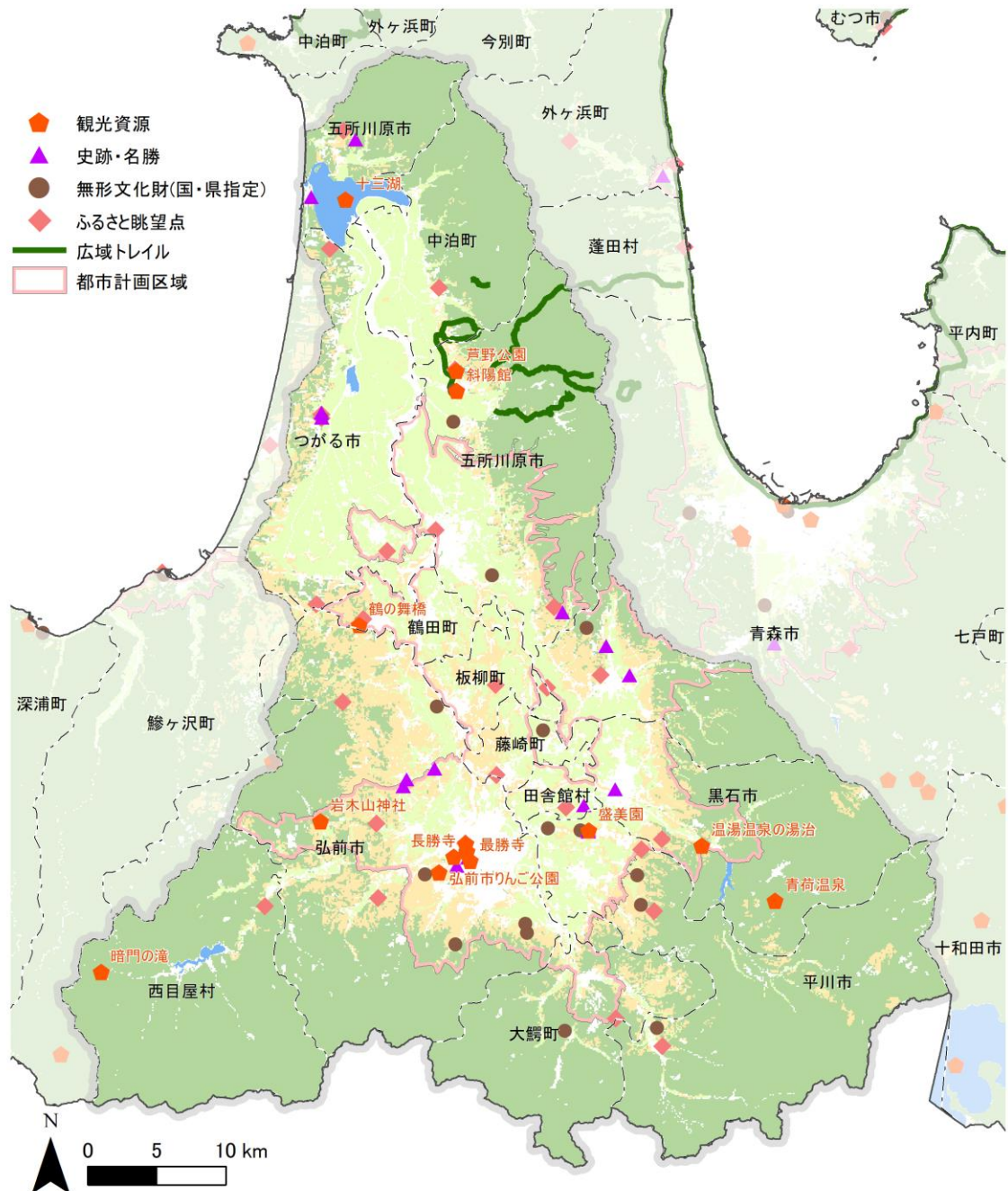
②生物の生息・生育

- ・上流部の白神山地では世界最大級の原生的なブナ林が分布し、多種多様な動植物を育む貴重な生態系が保たれています。
- ・季節風を受ける竜飛崎や、権現崎などにはイタヤカエデ、カシワを主とする風衝型の低木林がみられます。中泊町の大沢内溜池と五所川原市の藤枝溜池(芦野湖)の周辺は、溜池の水によって水辺・水生植物群落極めて良好な状態にあります。
- ・岩木山の南麓に広がる高原は、奥の日光と称される岩木山神社や津軽藩主を祀る高照神社、古くからの温泉地、スキー場など、津軽地方の信仰、レクリエーションの場です。



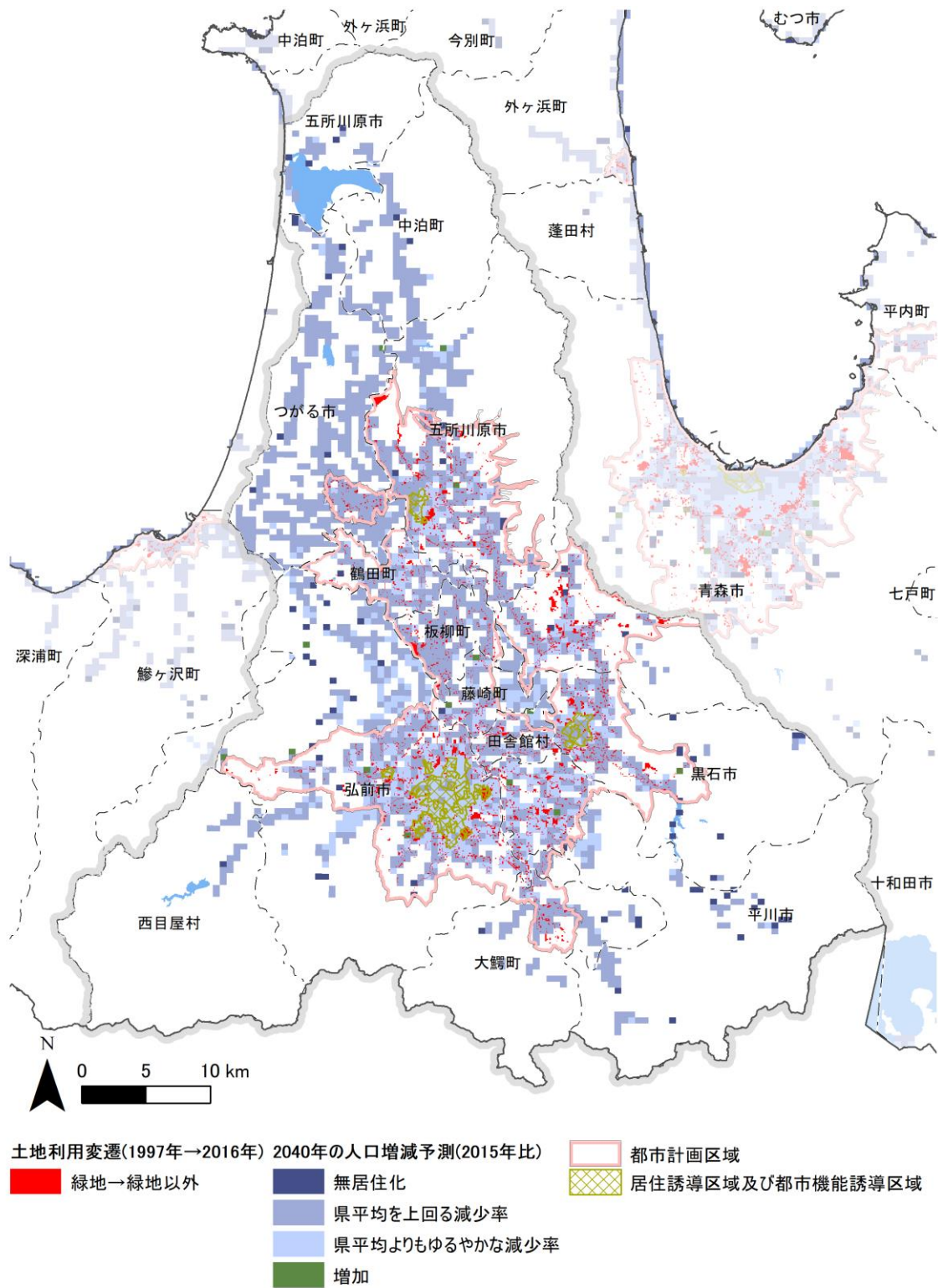
③文化・観光

- ・本地域の優れた自然景観は、一部が自然公園に指定されるなど、四季を通じた観光地となっています。
- ・戦後、岩木川流末処理事業、十三湖干拓事業等によって治水・利水機能が整い、津軽平野の稲作、流域上・中流部でのりんご栽培が盛んになりました。岩木川沿いに広がる田園風景は観光資源のひとつともなっています。



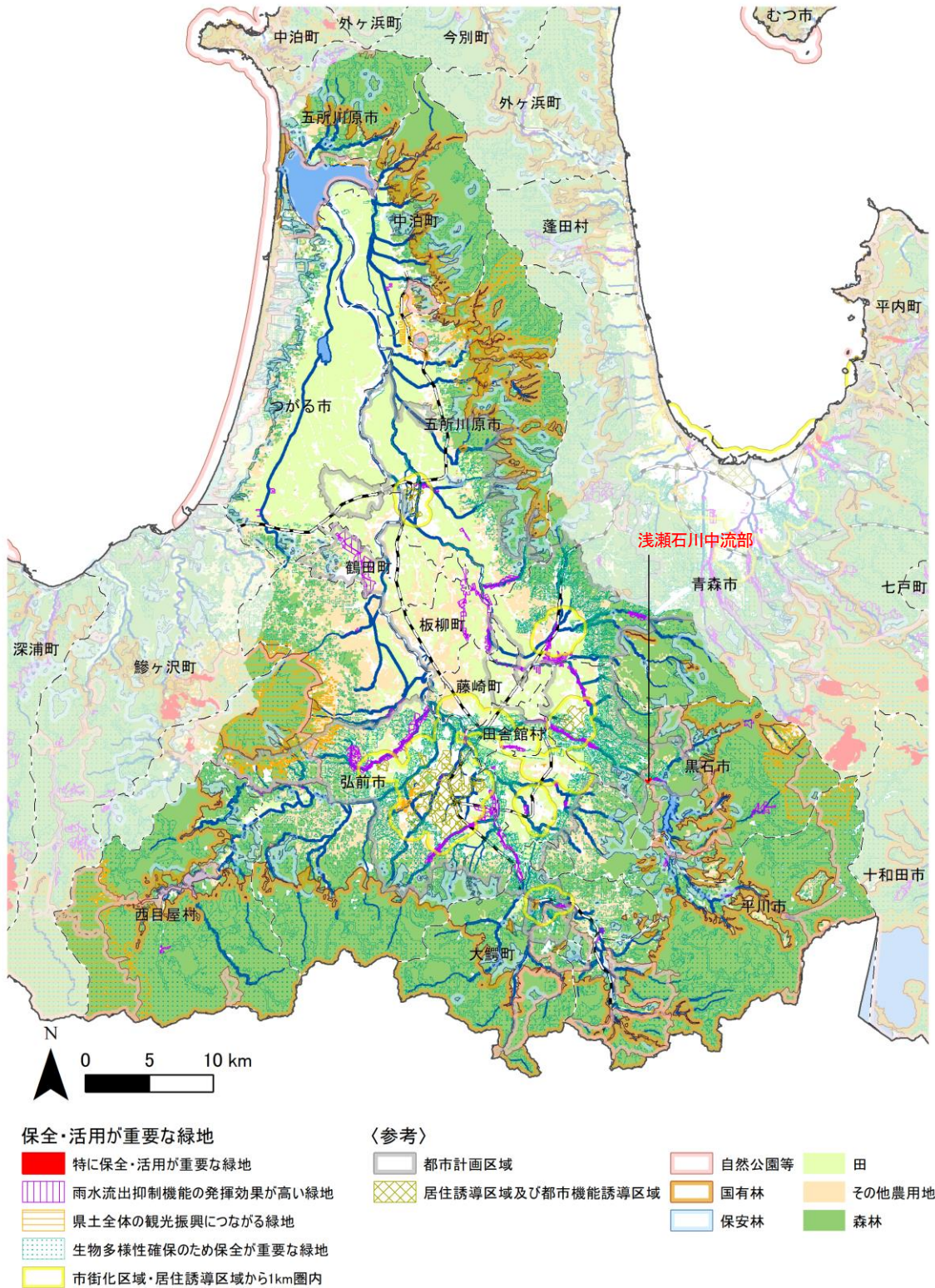
④人口の増減予測地点

- ・広い範囲で県平均を上回る人口減少率が予測されています。弘前市周辺では、県平均を下回る人口減少率となっています。



2 みどりの取組方向

岩木山、白神山地をはじめとする豊かな水や自然に配慮しながら観光地として活用します。また、観光資源である山麓から平野に広がるリンゴ畑の風景を将来に継承するとともに、市街地内に残るみどりの街並みや庭園を保全、活用します。



2

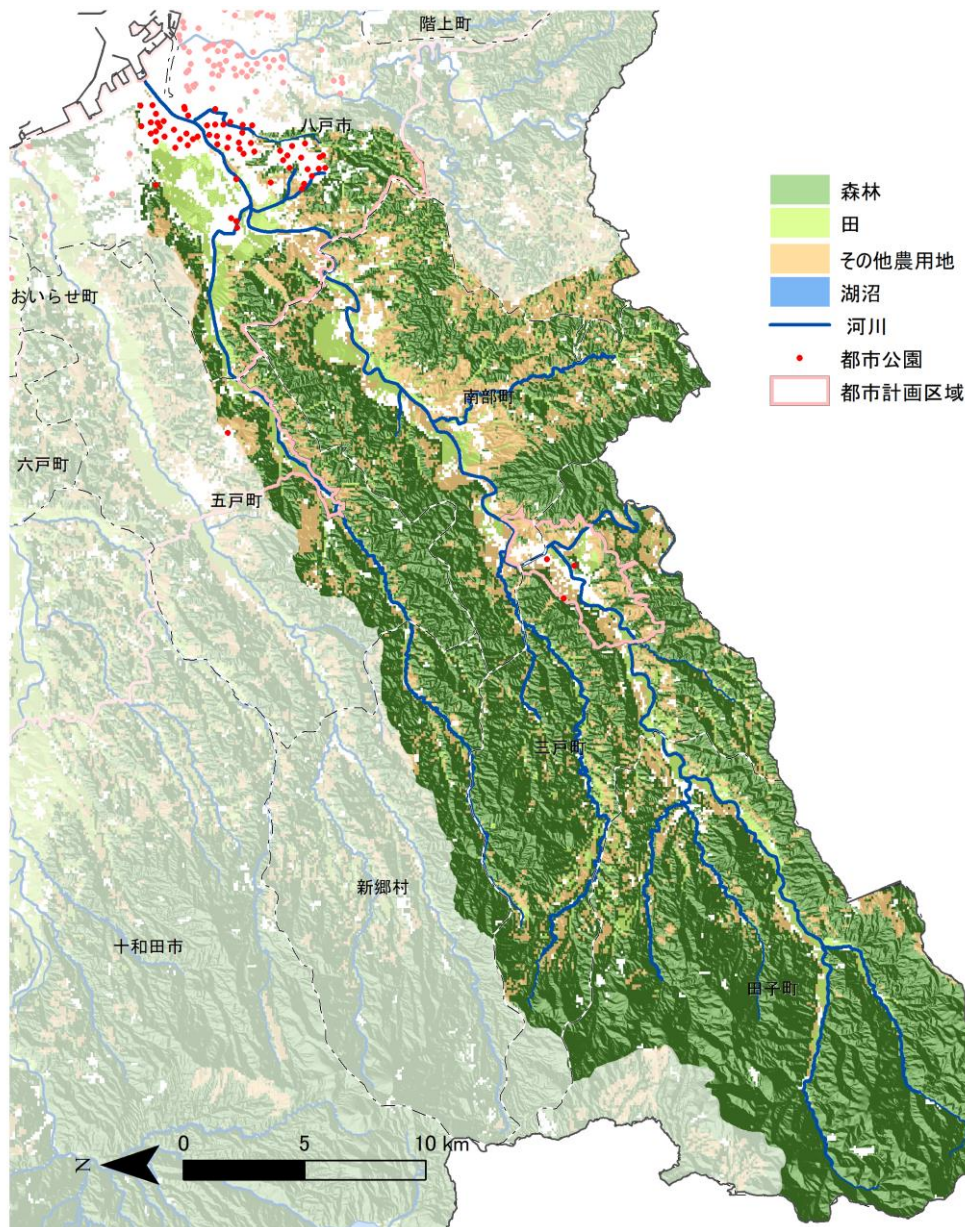
馬淵川水系地域

1

地域の特徴

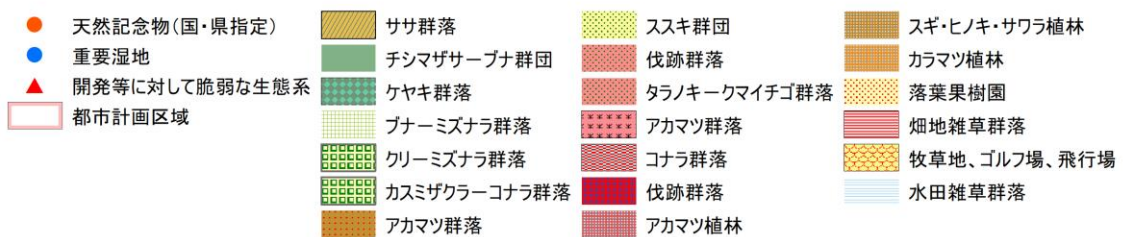
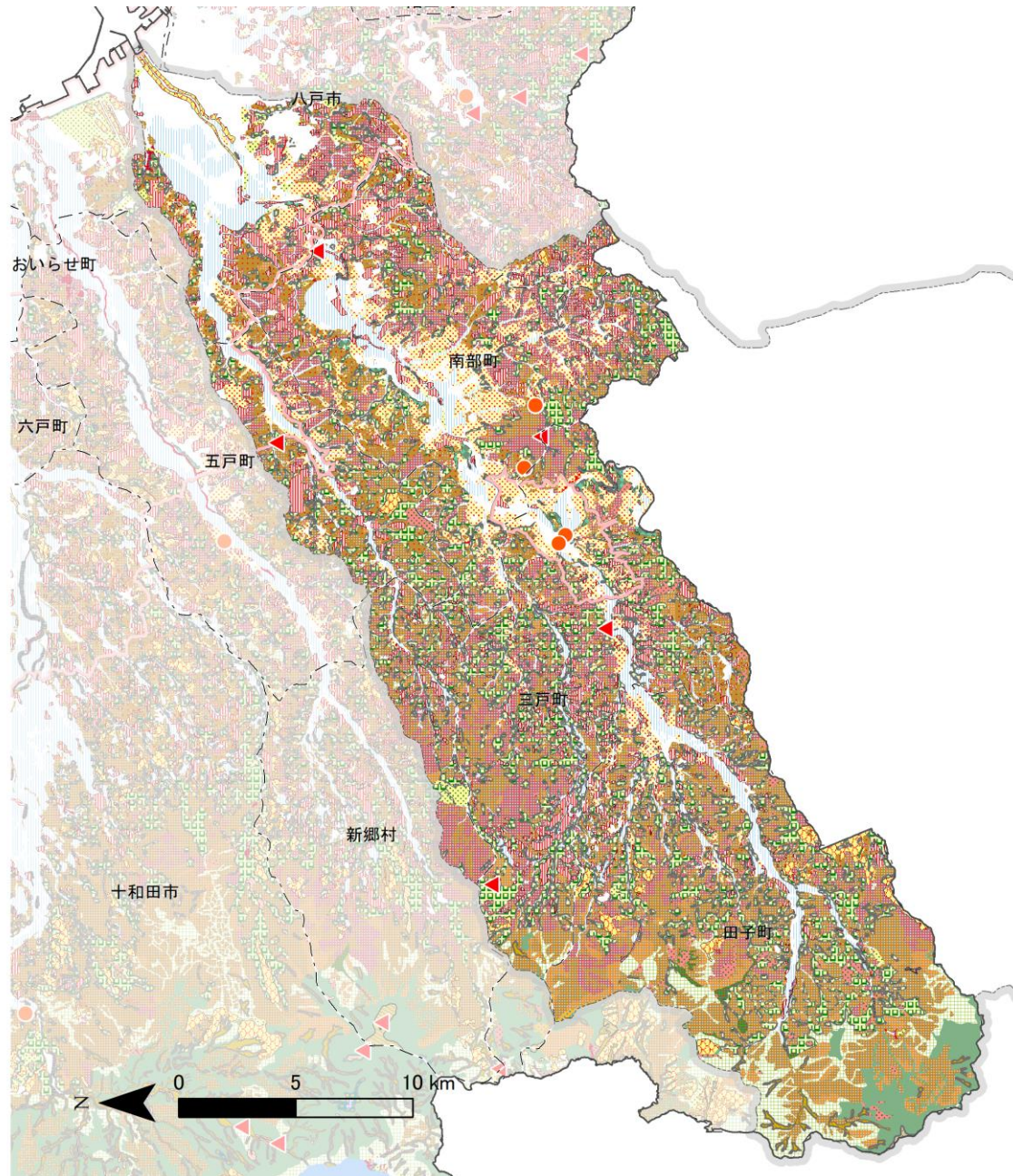
①みどりの構造

- ・青森県と岩手県北部にまたがる馬淵川水系は、岩手県の北上高地が源頭の馬淵川が、奥羽山脈に端を発する支流と三戸町で合流し、八戸平野を貫流して太平洋に注いでいます。
- ・三戸町と南部町の境に位置する名久井岳の山麓では果樹園が広がり、八戸市の低地部は河川沿いを中心に水田として利用されています。馬淵川と支流の合流点は、かつて三戸城が位置しており、跡地は城山公園として利用されています。低地部に八戸市街地が形成され、沿川に多くの河川公園が位置しています。八戸駅周辺は現在広域機能拠点として土地区画整理事業等により高次都市機能の集積が図られています。



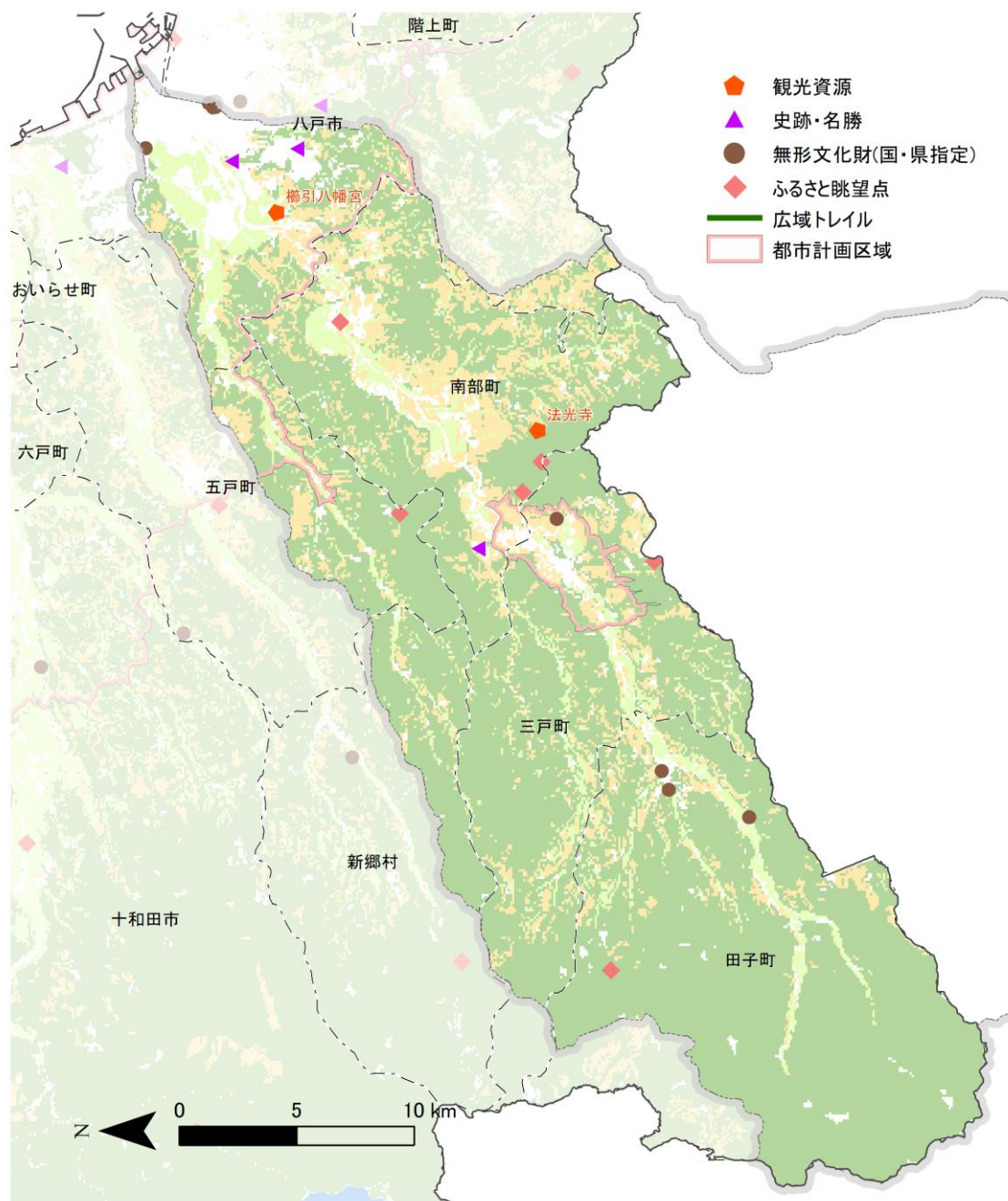
②生物の生息・生育

- ・馬淵川の山林は主に、ブナ・ナラ等の天然林とスギ・カラマツ等の人工林から成っています。田子町の折爪岳山頂は、東北有数のヒメボタルの群生地として有名です。
- ・名久井岳周辺はシナノキやアカマツ天然林等の貴重な自然環境を有することから自然公園に指定されています。
- ・馬淵川河口近傍の蕪島はウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されています。



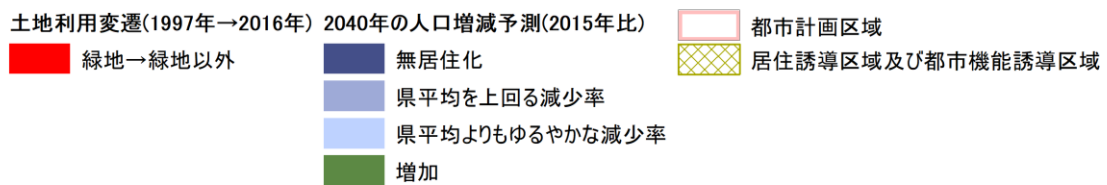
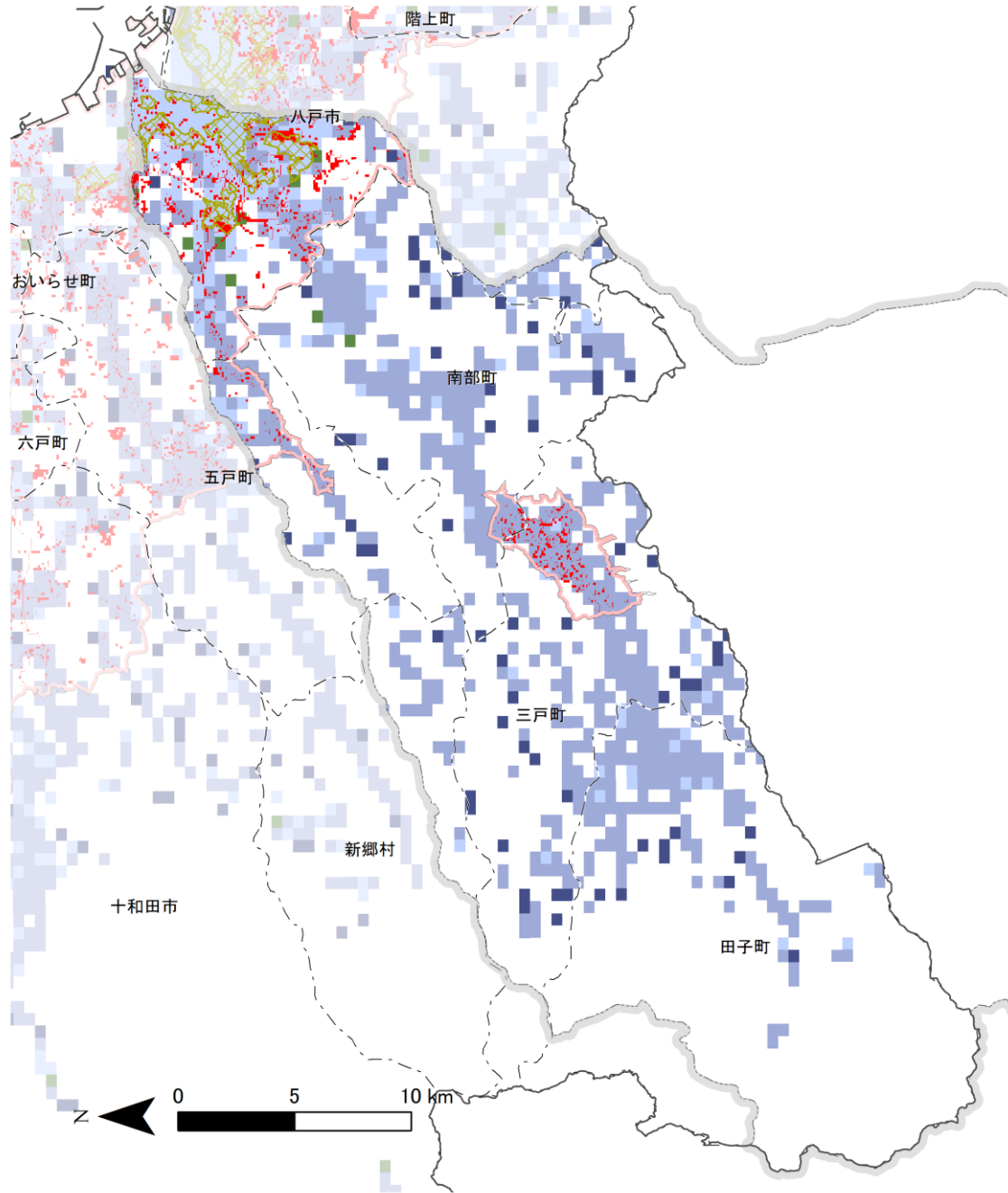
③文化・観光

- ・なだらかな山地・丘陵地の地形を利用した畜産や高冷地野菜の畑作が盛んです。平野部では、耕作や放牧、植林による人の手が入ることで、里山的な自然環境が形成されています。
- ・是川石器時代縄文遺跡をはじめとする古くからの生活の痕跡や、かつて城下町として栄えた三戸と八戸の城跡や、櫛引八幡宮等の神社など、文化遺跡が多数点在しています。
- ・日本一の山車祭り「八戸三社大祭」、重要無形民俗文化財に指定されている「えんぶり」をはじめ、南部まつり、田子神楽など郷土色豊かな伝統行事が行われています。



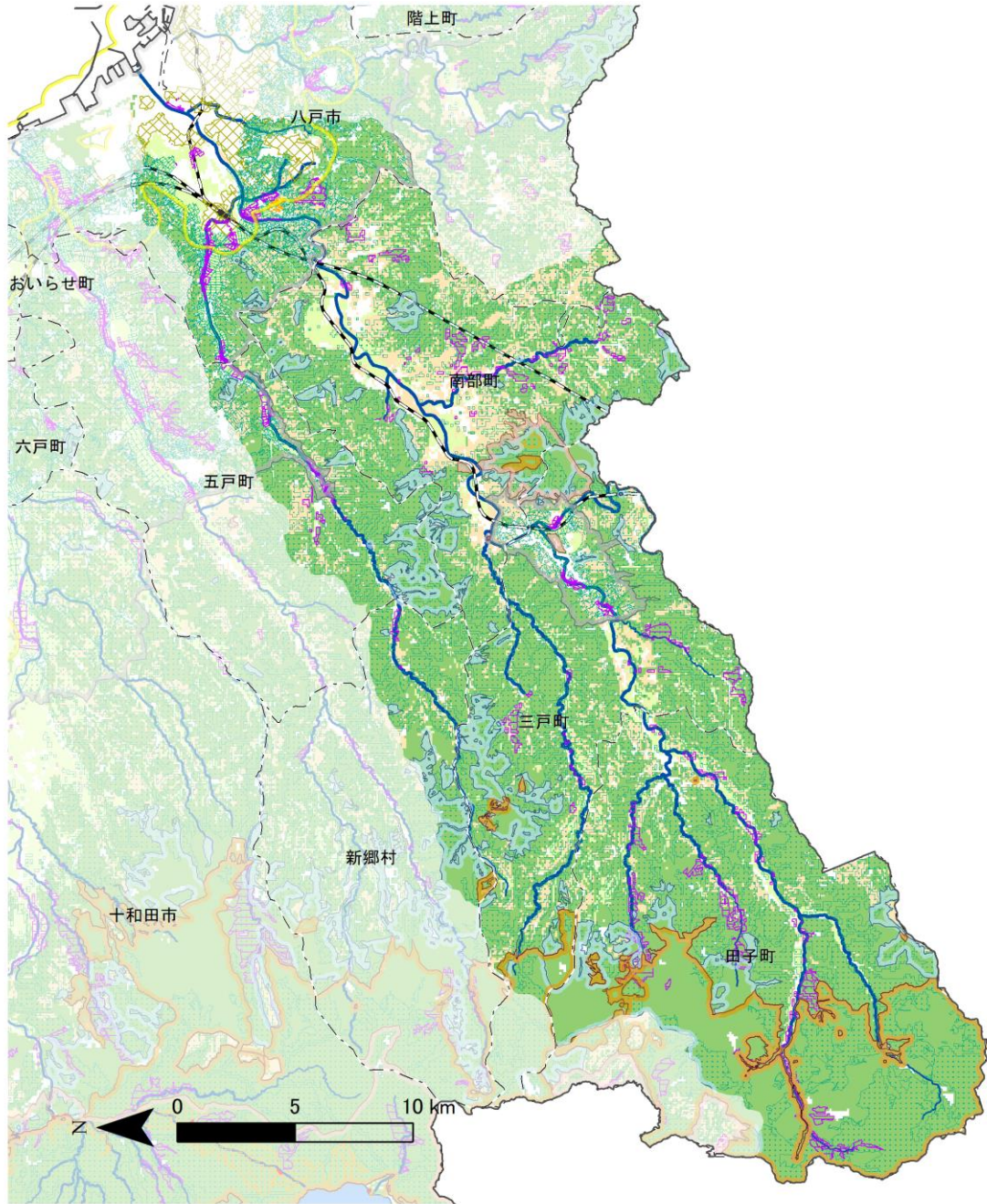
④人口の増減予測

- ・地域内の多くの地点で今後人口減少が予測されており、特に山林・山麓部は県平均を上回る減少が予測されています。
- ・八戸市街地内は比較的人口減少が緩やかと予測されています。



2 みどりの取組方向

ブナ、ナラ等の天然林が広がる山林を保全するとともに、耕作や放牧、植林等によって里山的な自然環境が広がる平野部のみどりも地域全体で保全活用します。また、市街地では歴史が色濃く残っており、公園等を文化継承、コミュニティ形成の場として活用します。



保全・活用が重要な緑地

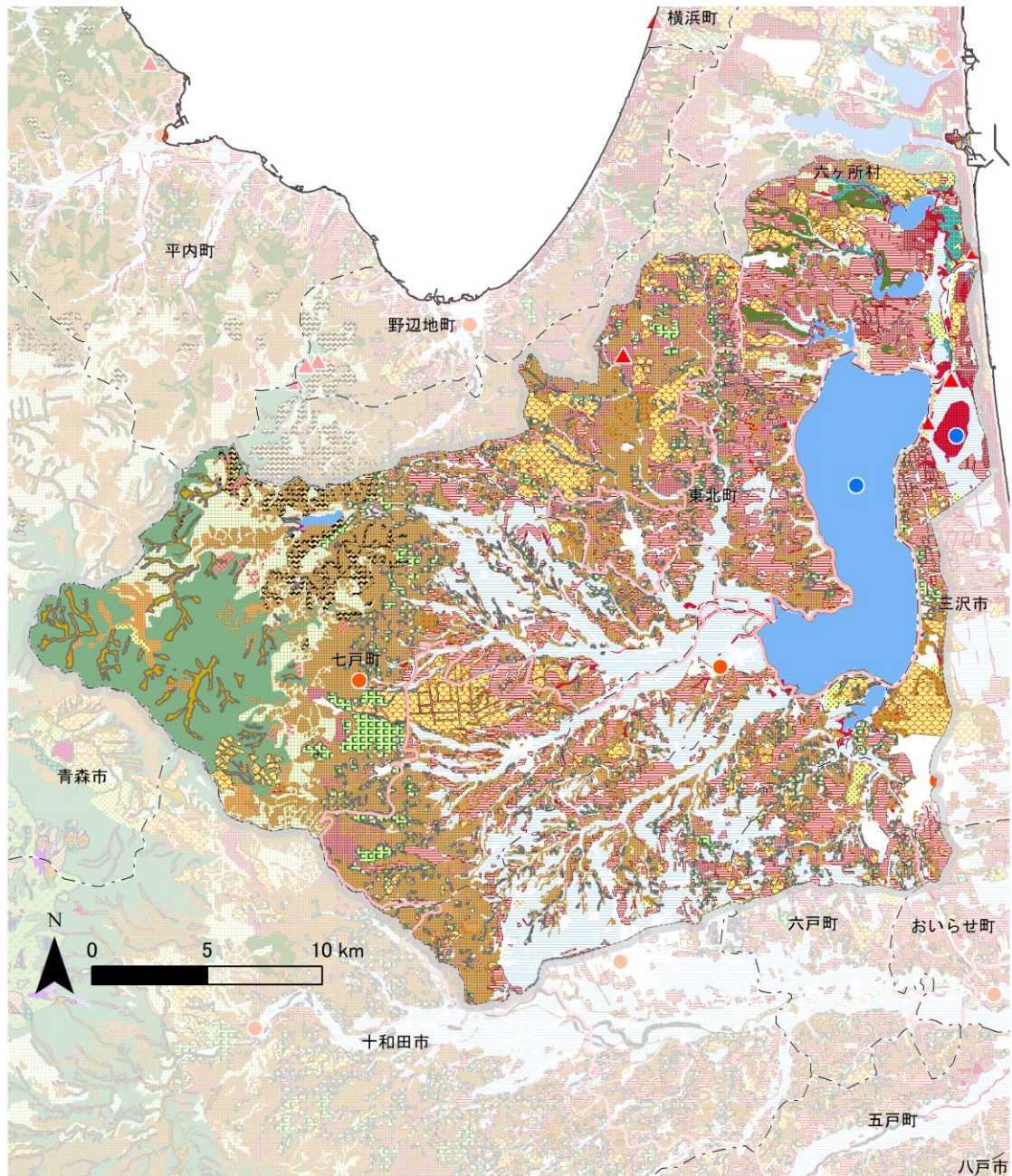
- 特に保全・活用が重要な緑地
- 雨水流出抑制機能の発揮効果が高い緑地
- 県土全体の観光振興につながる緑地
- 生物多様性確保のため保全が重要な緑地
- 市街化区域・居住誘導区域から1km圏内

〈参考〉

- | | | |
|--|--|--|
| 都市計画区域 | 自然公園等 | 田 |
| 居住誘導区域及び都市機能誘導区域 | 国有林 | その他農用地 |
| 保安林 | 森林 | |

②生物の生息・生育

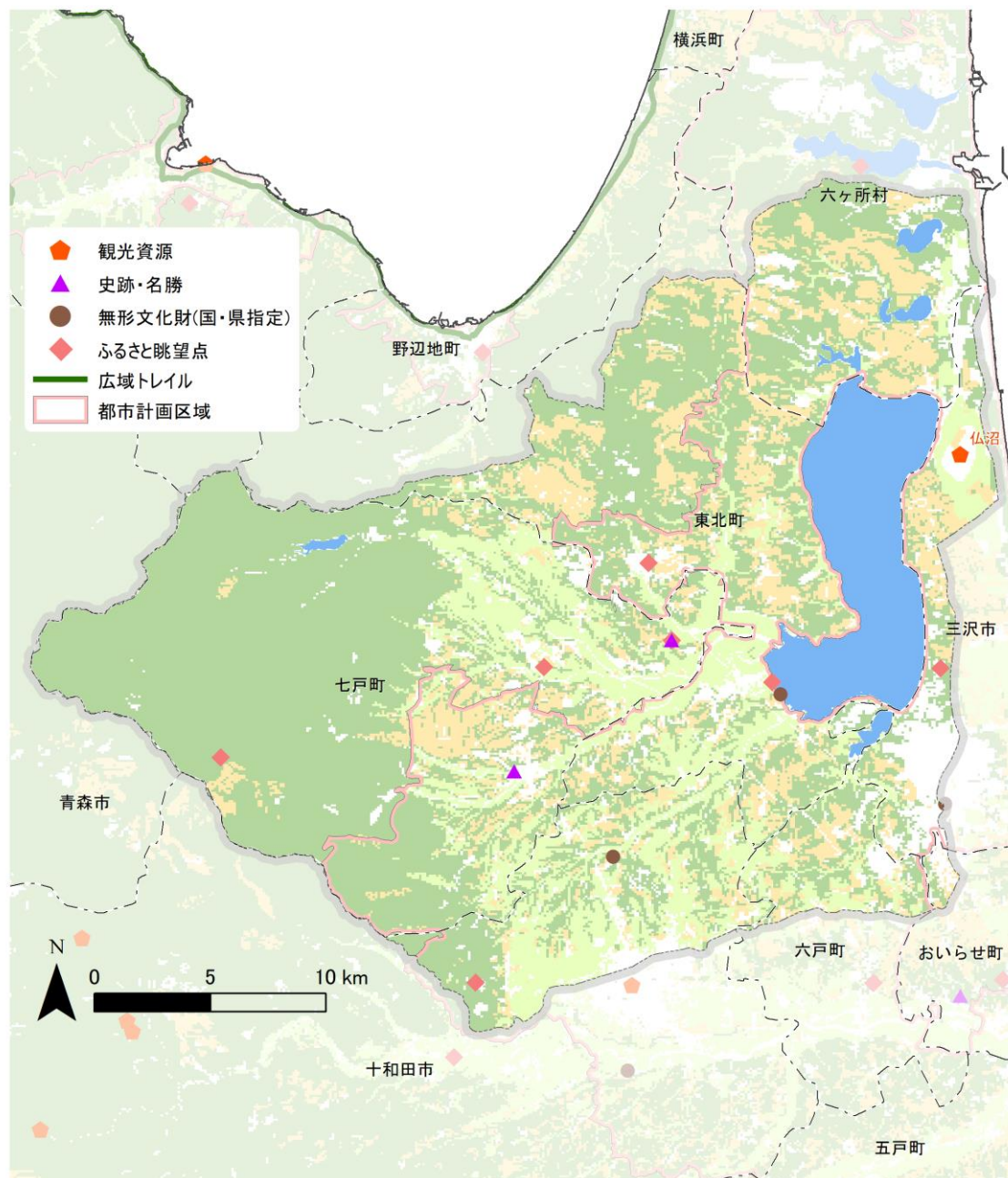
- ・本地域の山林は、ブナ、ヒバ等の天然林とスギ・カラマツ等の人工林から成っています。
- ・小川原湖をはじめ地域の西側に広がる湖沼群には希少種、固有種等が生息・生育していることから環境省「日本の重要湿地 500」に選定されている他、オオハクチョウ、ガン・カモ等の飛来地としてラムサール条約の登録湿地にも指定されています。



● 天然記念物(国・県指定)	■ チシマザサープナ群落	■ カスミザクラコナラ群落	■ スギ・ヒノキ・サワラ植林
● 重要湿地	■ ヒノキアスナロ群落	■ アカマツ群落	■ カラマツ植林
▲ 開発等に対して脆弱な生態系	■ ジュウモンジシダーサワグルミ群落	■ ススキ群落	■ 落葉広葉樹植林
□ 都市計画区域	■ ヤナギ低木群落	■ タラノキクマイチゴ群落	■ 畑地雑草群落
	■ ハンノキーヤチダモ群落	■ ヨシクラス	■ 牧草地、ゴルフ場、飛行場
	■ プナーミズナラ群落	■ アカマツ植林	■ 水田雑草群落
	■ カシワミズナラ群落	■ クロマツ植林	■ 休耕田雑草群落

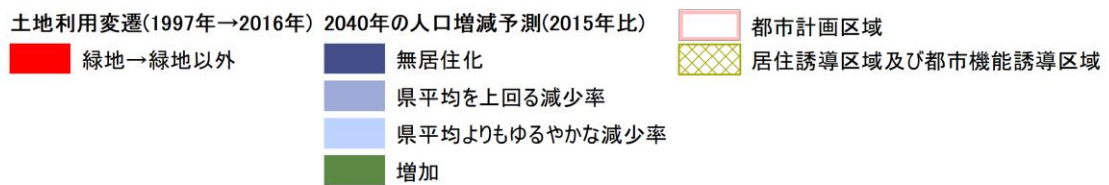
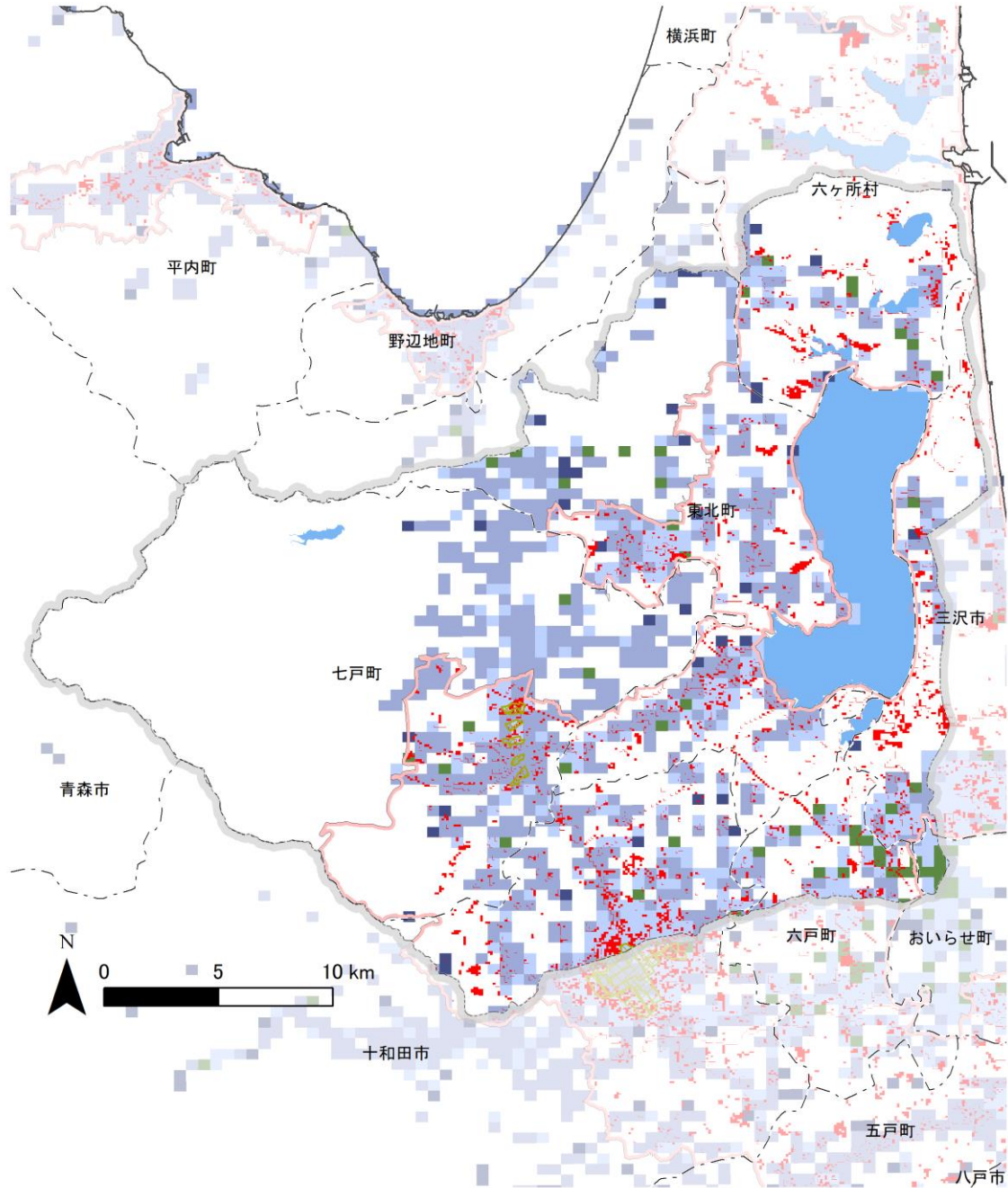
③文化・観光

- ・本地域では、丘陵部ではなだらかな起伏を活用した畑作と畜産が、低地では稲作が営まれています。また小川原湖及び高瀬川では古くから漁業が盛んで、シラウオやワカサギ等の産地として知られています。
- ・二ツ森貝塚や七戸城跡等の遺跡や地域の文化を伝える南部駒踊や念仏鶏舞の他、小川原湖や仏沼等の自然環境が、本地域の観光資源となっています。



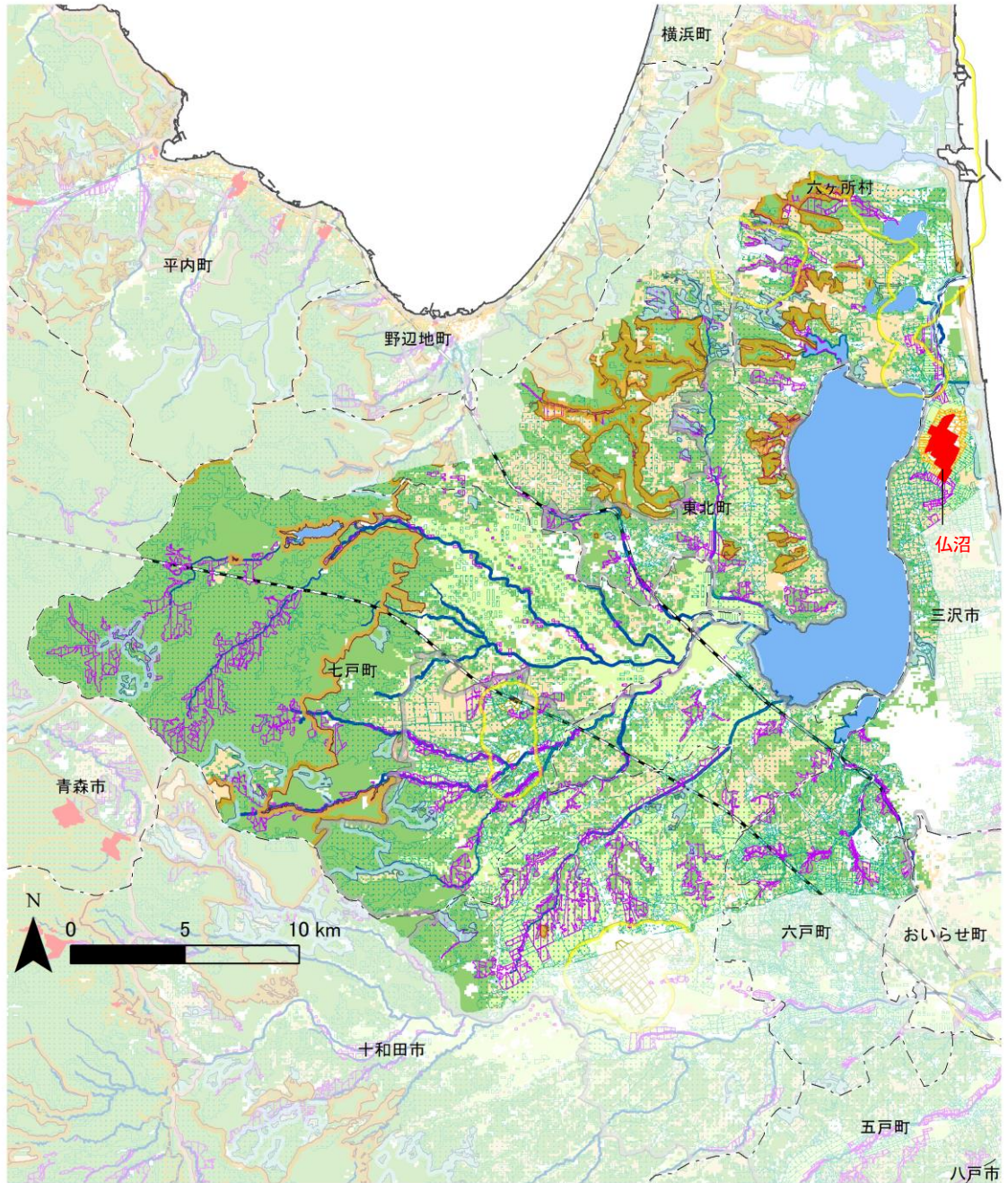
④人口の増減予測

- ・地域内の多くの地点で今後人口減少が予測されています。市街地周辺は県平均よりも緩やかに減少しており、また三沢市の市街地周辺は、2015年比で人口が増加すると予測される地点がまとまって分布しています。



2 みどりの取組方向

豊かな生態系を育むブナ、ヒバ等の天然林、小川原湖など地域西側の湖沼群等を保全、観光資源として活用するとともに、なだらかな丘陵部に広がる田畑をふるさとの景観として継承します。



保全・活用が重要な緑地

- 特に保全・活用が重要な緑地
- 雨水流出抑制機能の発揮効果が高い緑地
- 県土全体の観光振興につながる緑地
- 生物多様性確保のため保全が重要な緑地
- 市街化区域・居住誘導区域から1km圏内

〈参考〉

- | | | |
|--|--|---|
| 都市計画区域 | 自然公園等 | 田 |
| 居住誘導区域及び都市機能誘導区域 | 国有林 | その他農用地 |
| 保安林 | 森林 | |

4

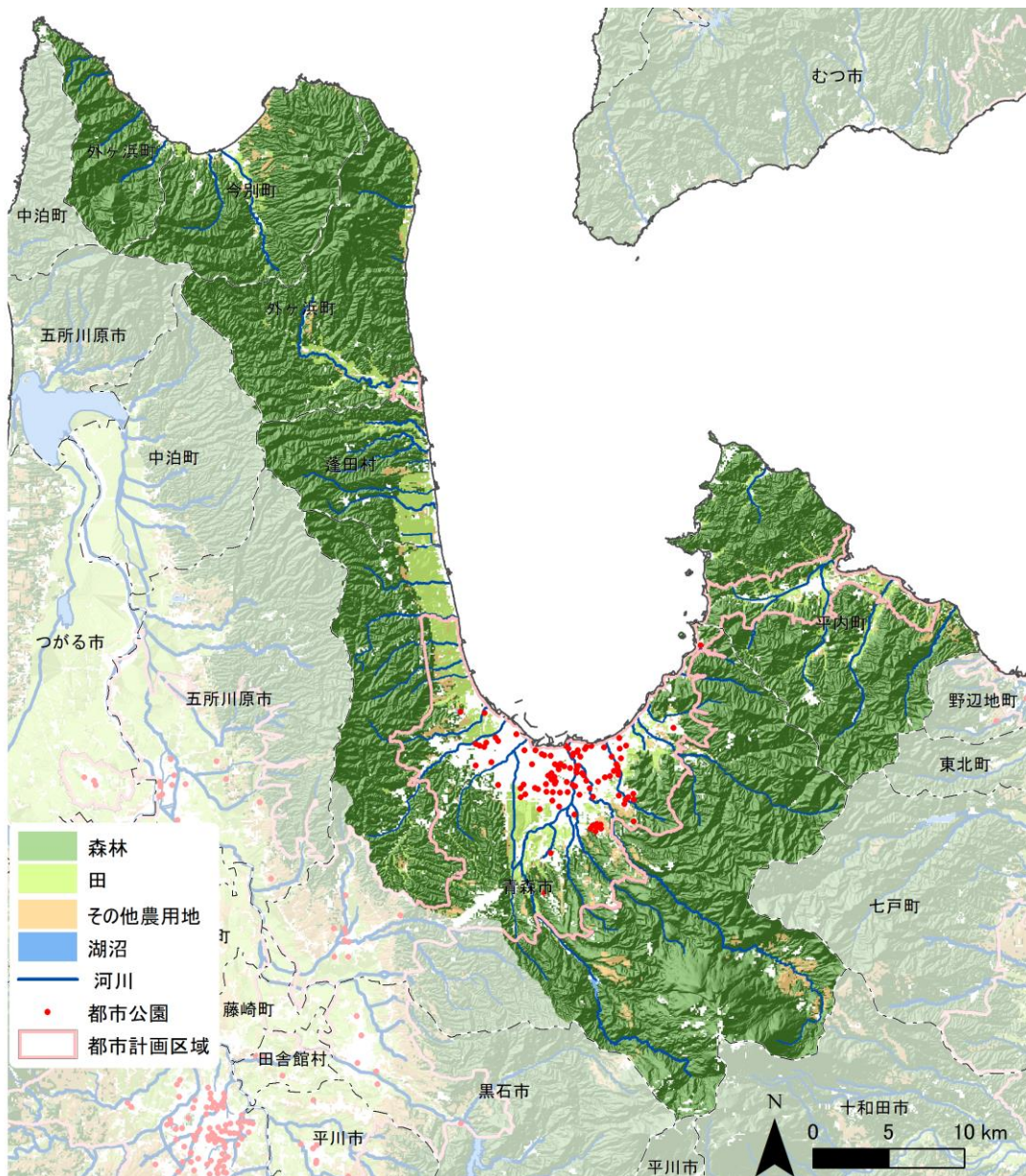
東青流域地域

1

地域の特徴

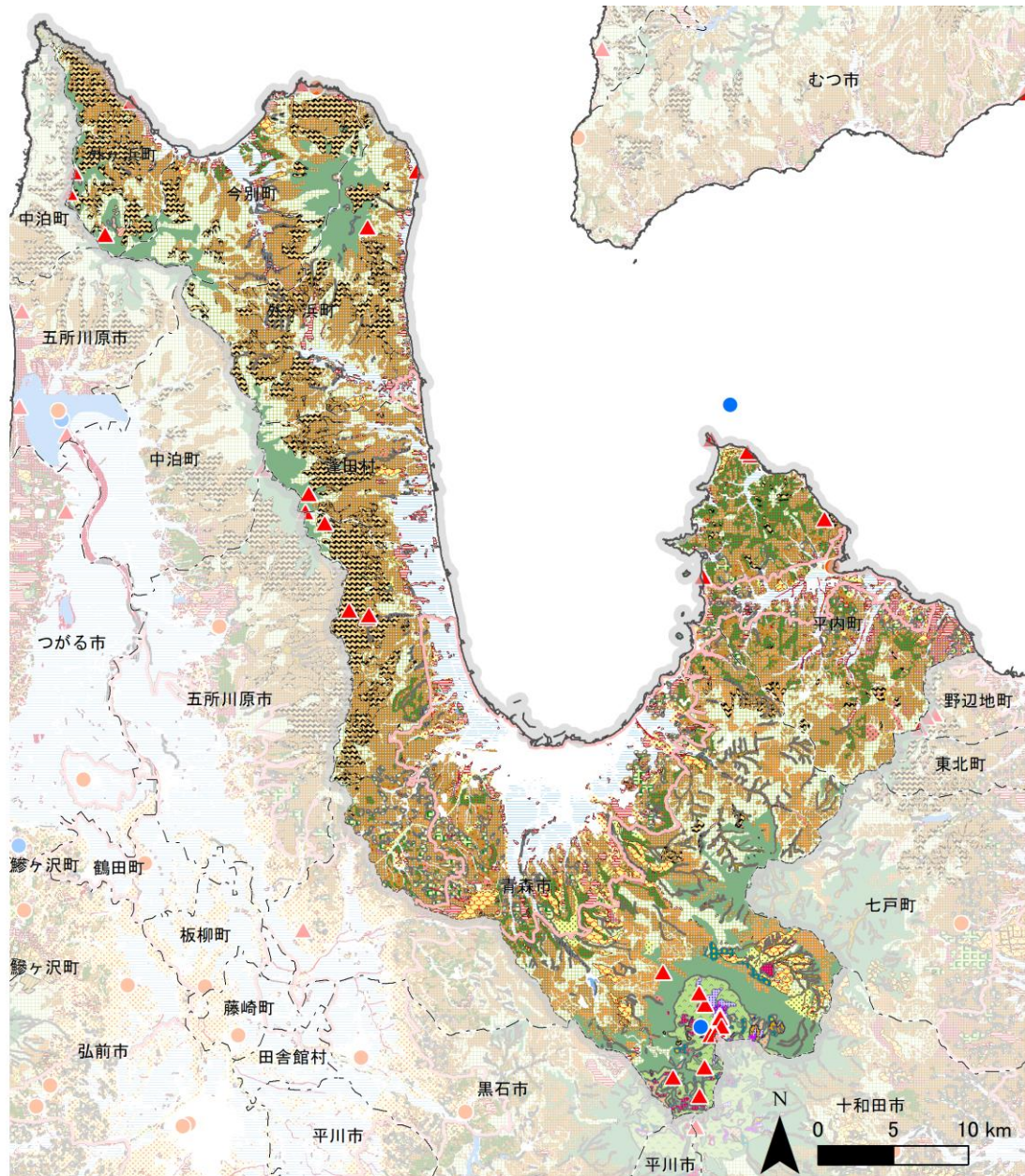
①みどりの構造

- ・ 本地域は、八甲田山系及び津軽半島と夏泊半島から青森湾に注ぐ河川を中心とする流域によって構成されます。
- ・ 地域の中央には、青森湾を抱く平野に広がる青森市街地と田園が位置し、その背後に八甲田山系が控えています。津軽半島と夏泊半島は、山地が海岸まで迫っており、緩やかに連なる山地と海沿いの農地や集落によって構成されています。
- ・ 青森市街地は、駅周辺を中心にビルが建ち並ぶ中、青い森公園や港湾部の公園など、県民や観光客がみどりに触れるオープンスペースが位置しています。



②生物の生息・生育

- ・八甲田山系は四方に裾を開くように立地しており、多くの河川が流れ、上流では渓谷や滝、湿地群が存在しています。標高1,000m程度まではブナの天然林が広がり、より高い高山帯ではマツの群生や湿生植物が育まれています。
- ・津軽半島の山林は、日本三大美林として知られるヒバ林が広がっており、その大半は国有林となっています。夏泊半島では、変化に富む海岸線が形成されており、なかでも浅所海岸はハクチョウの飛来地として知られています。



● 天然記念物(国・県指定)	オシラビソ群落	カシワ・ミズナラ群落	スギ植林
● 重要湿地	ササ自然草原	カスミザクラ・コナラ群落	カラマツ植林
▲ 開発等に対して脆弱な生態系	チシマザサ・ブナ群団	アカマツ群落	落葉果樹園
□ 都市計画区域	ヒノキ・アスナロ群落	ススキ群団	畑地雑草群落
	ジュウモンジシダー・サワグルミ群落	タラノキ・クマイチゴ群落	牧草地、ゴルフ場、飛行場
	ヤナギ低木群落	アカマツ植林	水田雑草群落
	ブナ・ミズナラ群落	スギ・ヒノキ・サワラ植林	自然裸地

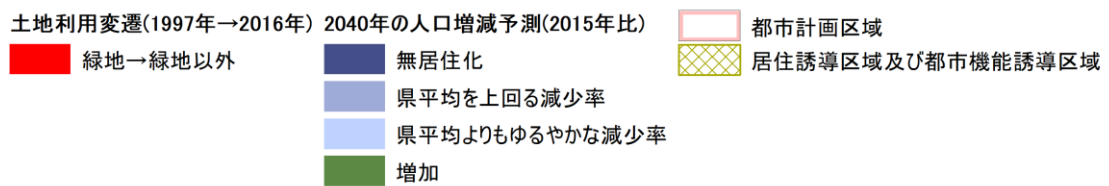
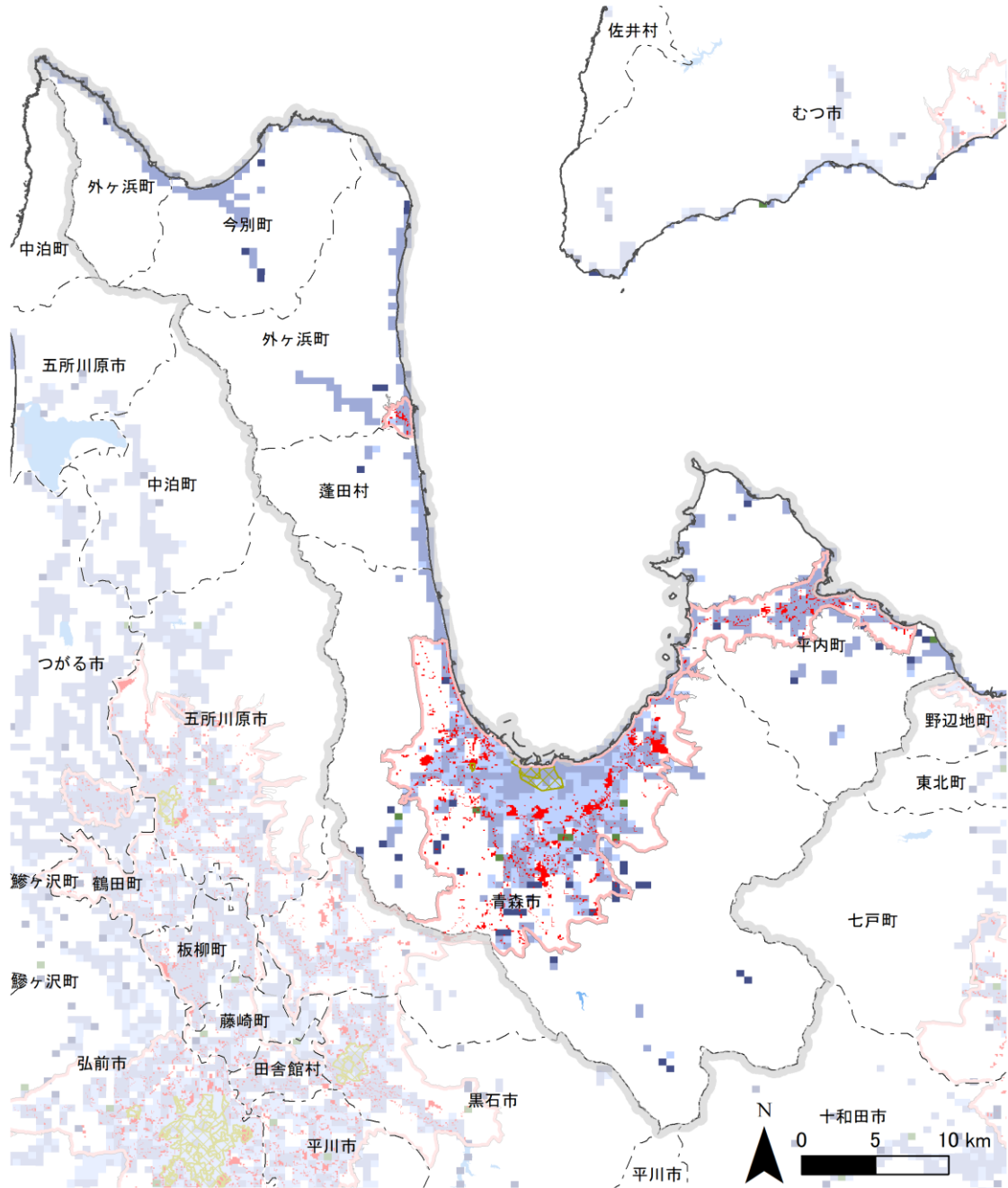
③文化・観光

- ・青森市街地を囲む農地と津軽半島の東部を中心に水田が広がり、背後の八甲田山や津軽山地のみどりと一体となってふるさとの景観を形成しています。
- ・本地域には、三内丸山遺跡をはじめ縄文遺跡群が分布するほか、竜飛岬や浅所海岸など海沿いが重要な観光名所となっています。
- ・なかでも青森市街地は、三内丸山遺跡や県立美術館、青森ねぶた等、県を代表する観光地が集まっています。



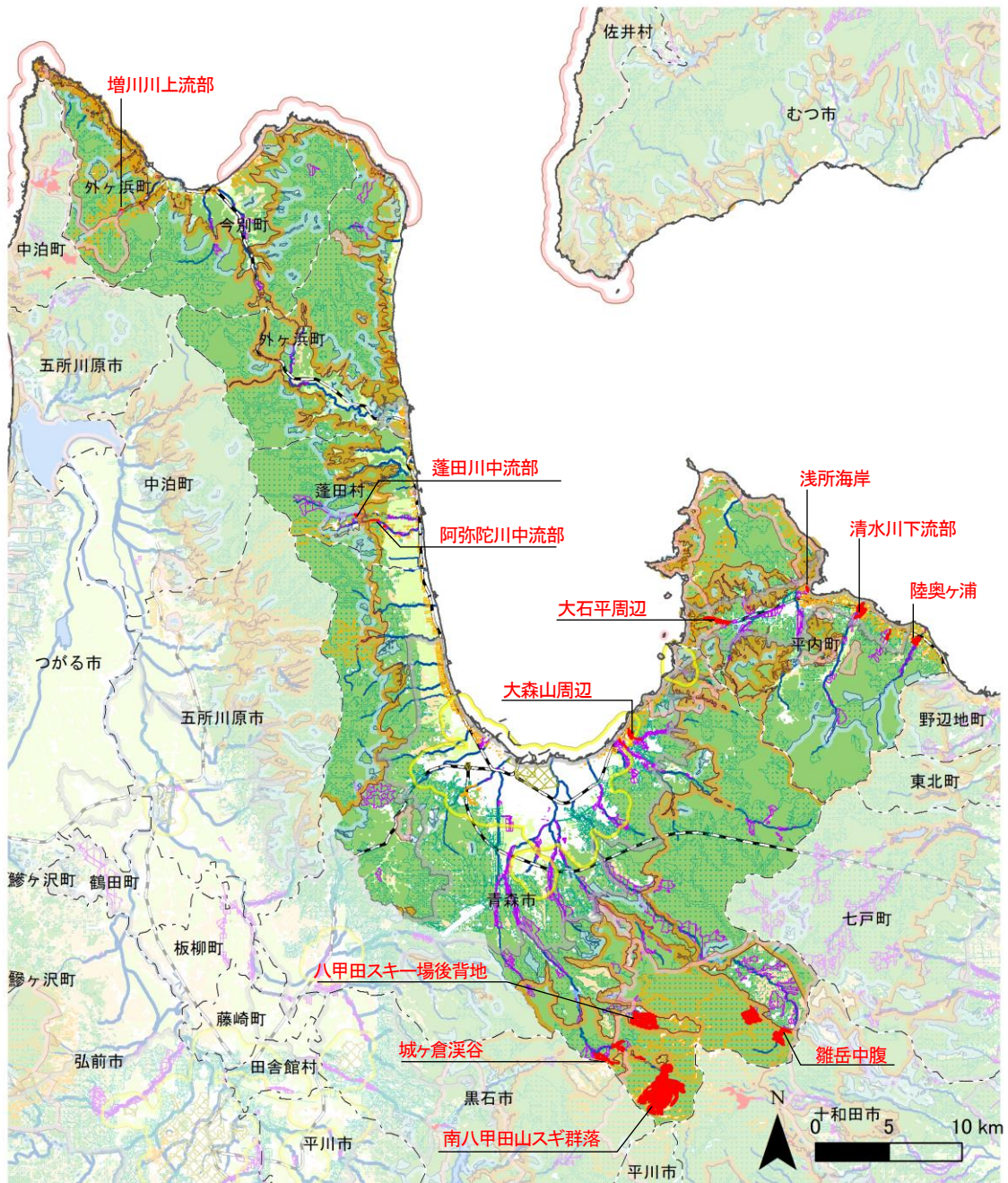
④人口の増減予測

・ 広く人口減少が進むと予測されています。半島の海岸沿いの集落や青森市街地の外縁部のみならず、青森駅や中心市街地が位置する都市機能誘導区域においても、県平均を上回る減少が予測されています。



2 みどりの取組方向

八甲田山の湿地群や天然林、津軽半島のヒバ林、夏泊半島の海岸線など、生物多様性を支え観光振興に貢献する豊かな自然環境を保全します。また、青森湾に面する青森市街地では、周辺の田園や海岸を活用して、自然と触れ合えるみどりの空間を形成します。



保全・活用が重要な緑地

- 特に保全・活用が重要な緑地
- 雨水流出抑制機能の発揮効果が高い緑地
- 県土全体の観光振興につながる緑地
- 生物多様性確保のため保全が重要な緑地
- 市街化区域・居住誘導区域から1km圏内

〈参考〉

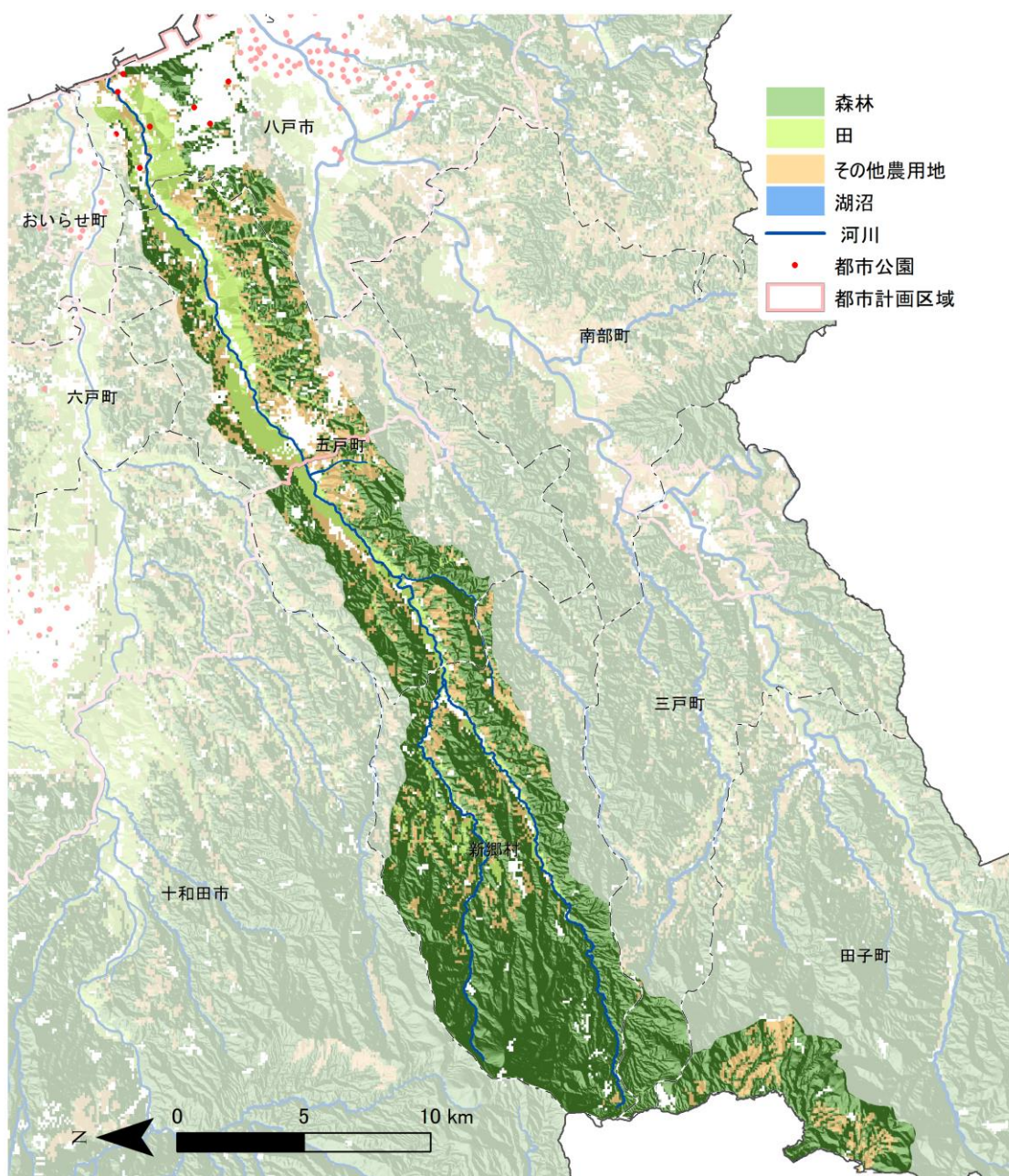
- 都市計画区域
- 居住誘導区域及び都市機能誘導区域
- 自然公園等
- 田
- 国有林
- 保安林
- その他農用地
- 森林

5 北三八流域地域

1 地域の特徴

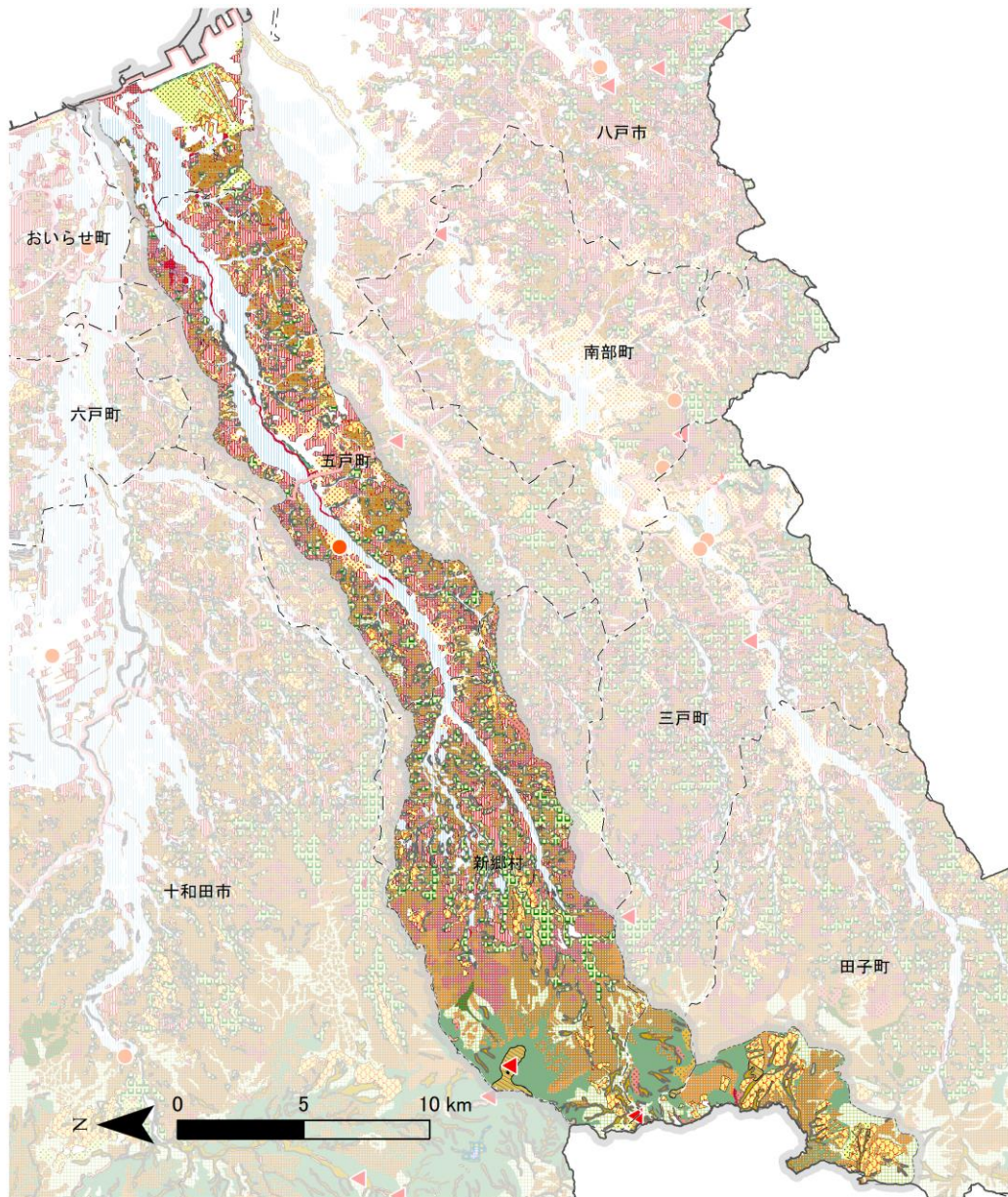
①みどりの構造

- ・ 本地域は二級河川である五戸川を中心とする地域で、五戸川が山間部を東に流れ、中流域で河川沿いにわずかに広がる低地に水田が分布しています。下流部は奥入瀬川と近接し、八戸港の北側から太平洋に注いでいます。
- ・ 中流域に五戸町の中心部が位置し、下流部では八戸市の市街化区域の北側が本地域に含まれています。



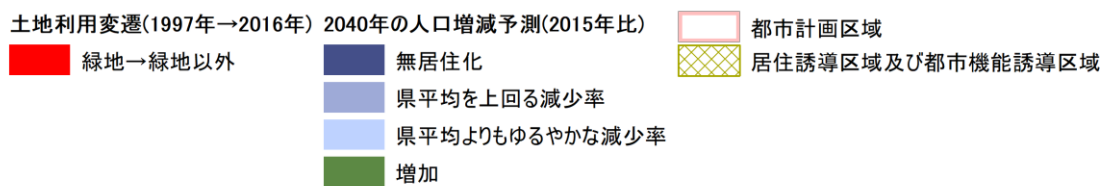
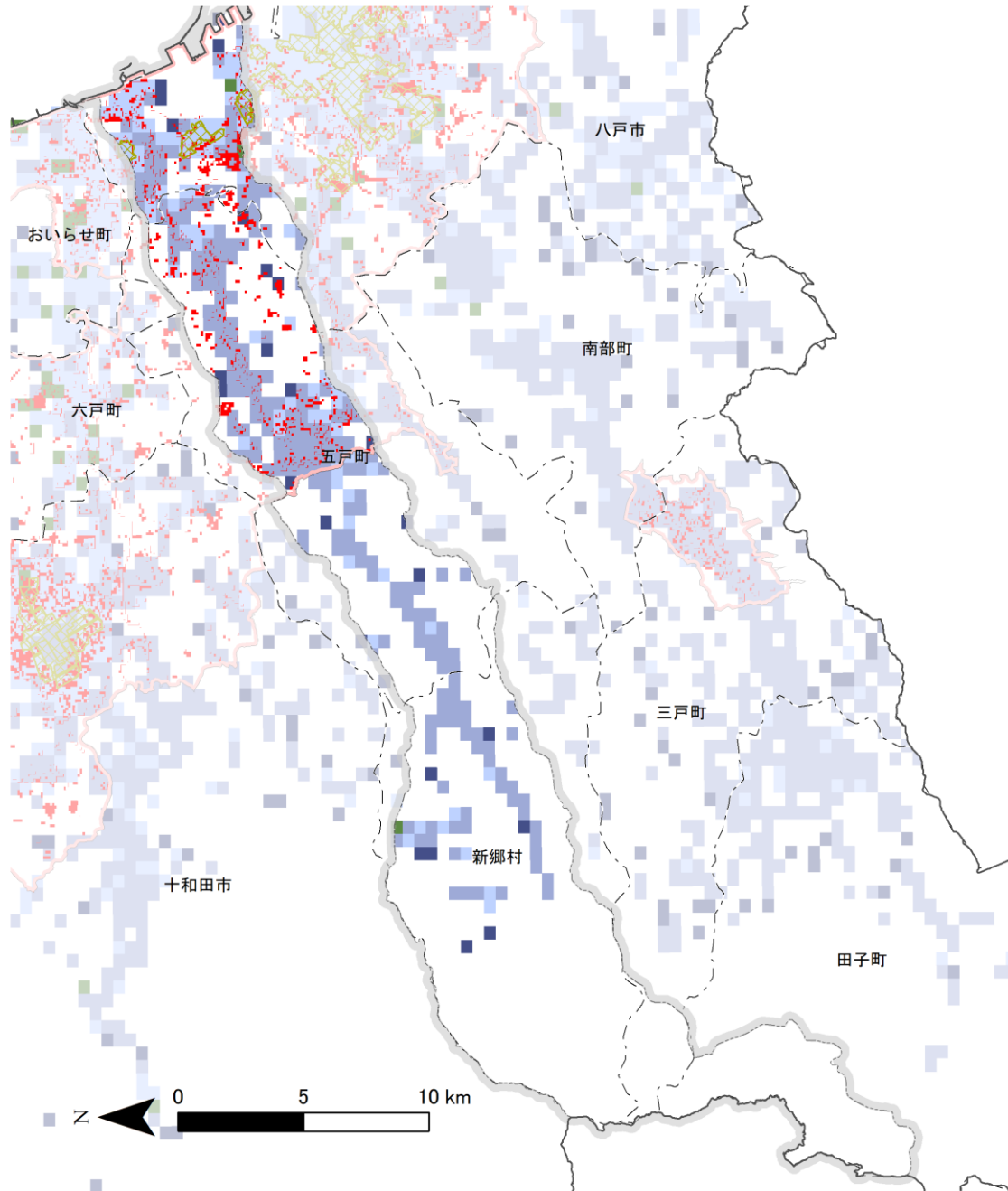
②生物の生息・生育

- ・上流域の山林の多くはスギやカラマツの植林地となっています。十和田八幡平国立公園に接している十和利山周辺にブナの天然林がわずかに残っており、特に戸来岳では希少なイチイ群落やコメツツジ群落が分布しています。
- ・中流部に位置する五戸町の小渡平公園ではアカマツ、シラカバ等が分布しており良好な自然環境が形成されています。
- ・市街地内の河川や港湾部では、堤防が整備され、天然海岸はほとんどありませんが、河川沿いの植生がみられる場所もわずかに存在しています。



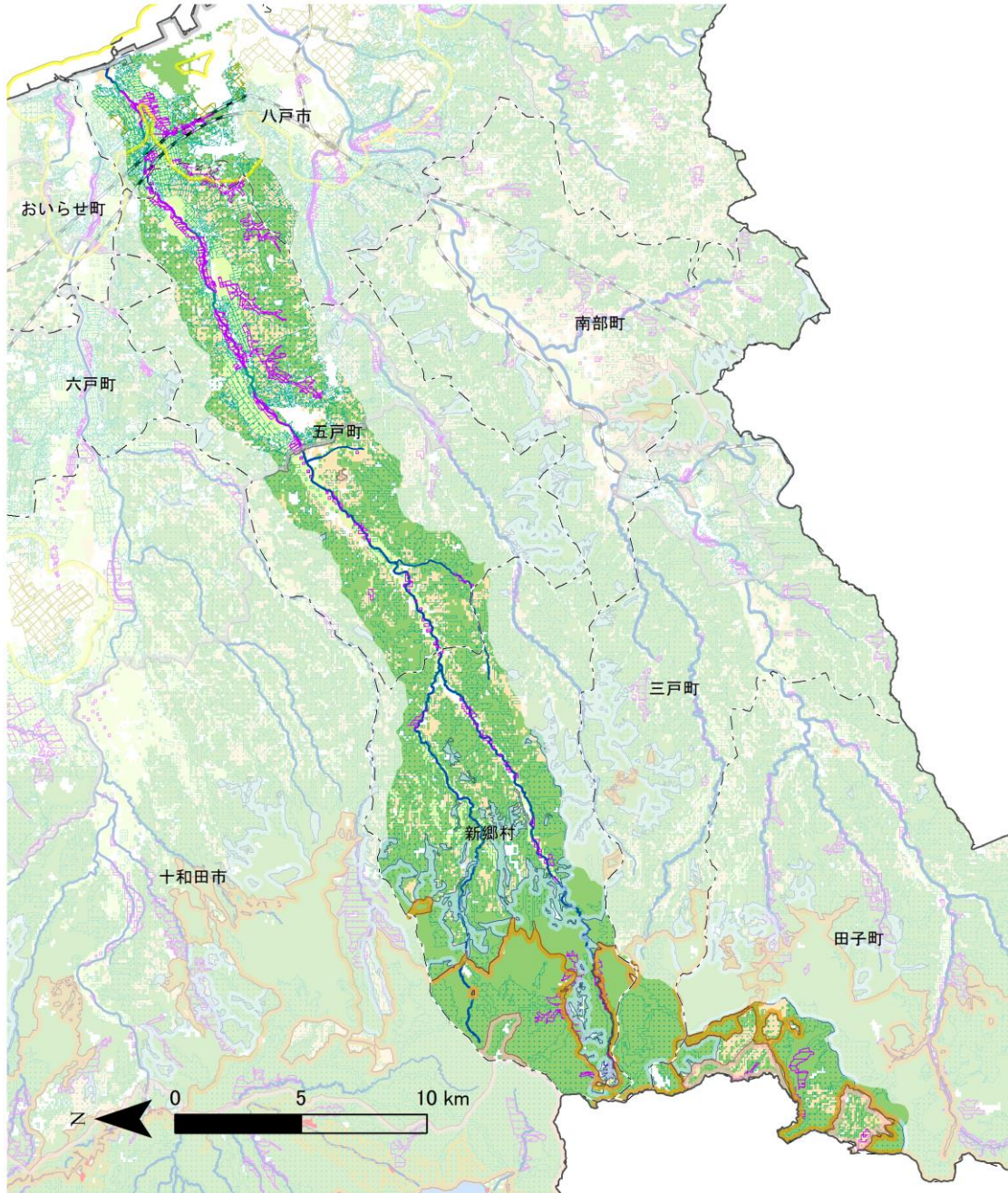
④人口の増減予測

- ・河川沿いの農村集落及び五戸町の市街地では、広い範囲で、県平均を上回る人口減少が予測されています。八戸市街地の居住誘導区域をはじめとする市街化区域内で、やや緩やかな減少率となっています



2 みどりの取組方向

十和田八幡平国立公園に接する十和利山周辺に残っている希少な植生を保全します。また、登山や釣り、キャンプなど自然環境を生かして観光振興、地域振興につなげます。



保全・活用が重要な緑地

- 特に保全・活用が重要な緑地
- 雨水流出抑制機能の発揮効果が高い緑地
- 県土全体の観光振興につながる緑地
- 生物多様性確保のため保全が重要な緑地
- 市街化区域・居住誘導区域から1km圏内

〈参考〉

- 都市計画区域
- 居住誘導区域及び都市機能誘導区域
- 自然公園等
- 田
- 国有林
- その他農用地
- 保安林
- 森林

6

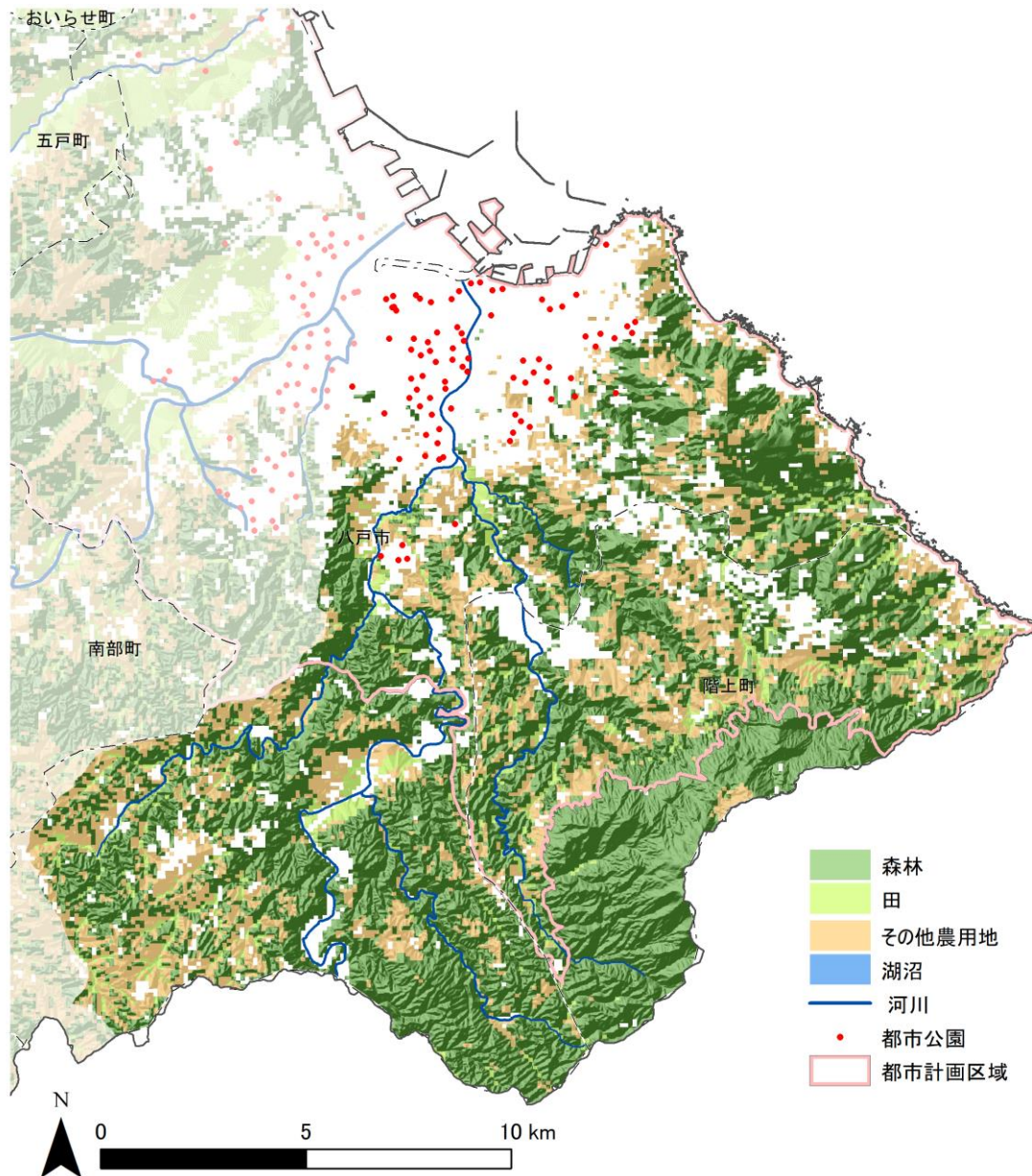
南三八流域地域

1

地域の特徴

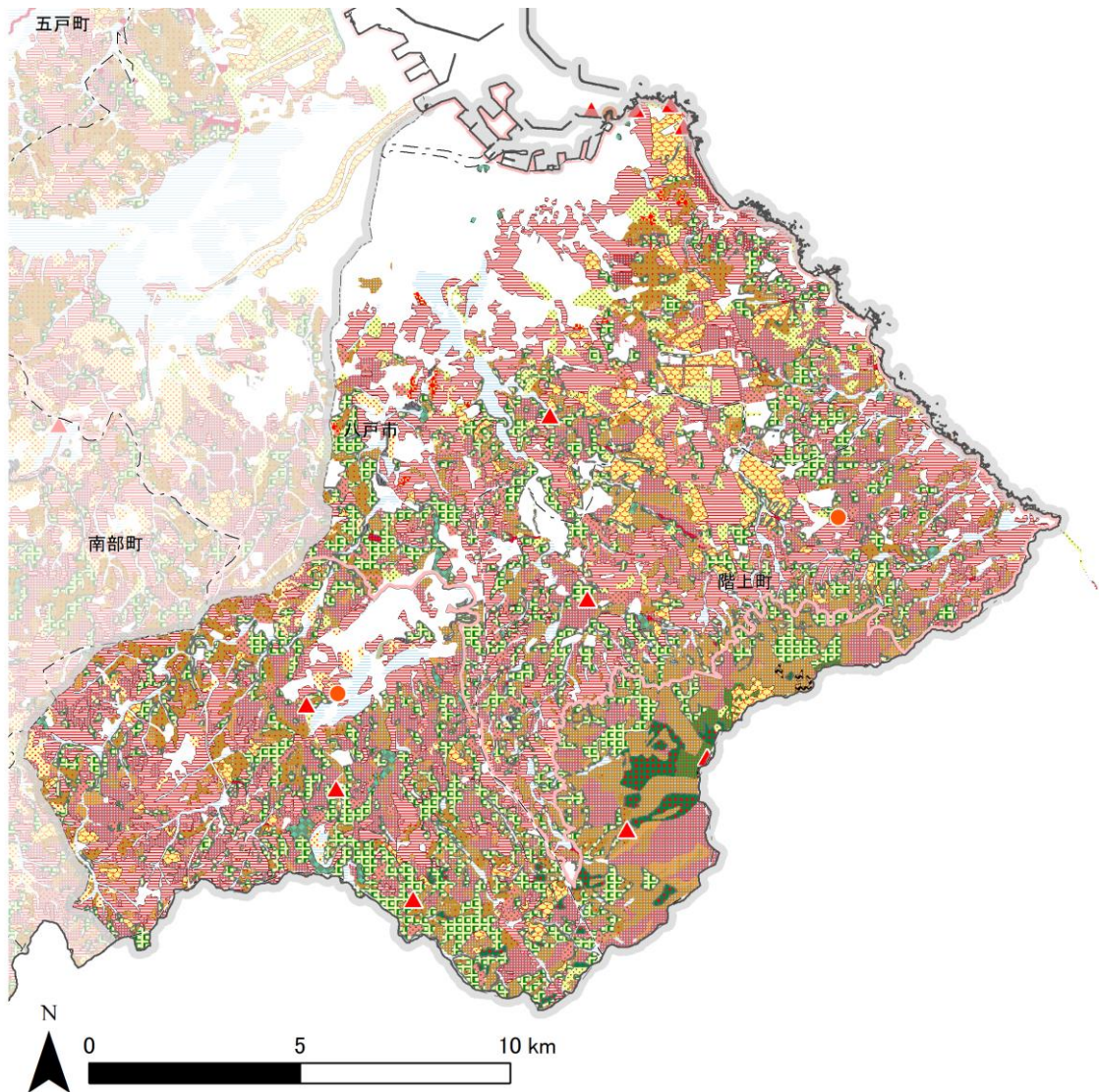
①みどりの構造

- ・南部は岩手県を通り宮城県まで及ぶ、北上山地最北の山である階上岳北面の山麓地帯となっており、階上岳の西南端に発する松館川をはじめ、階上岳および南部の山地から流れる河川が八戸港より太平洋へと注いでいます。
- ・山地から市街化区域までの間は農地と樹林地が入り混じる里地里山となっています。
- ・八戸市内の市街化区域内に都市公園が分布しており、東運動公園や隣接する東墓地公園が主な公園として整備されています。



②生物の生息・生育

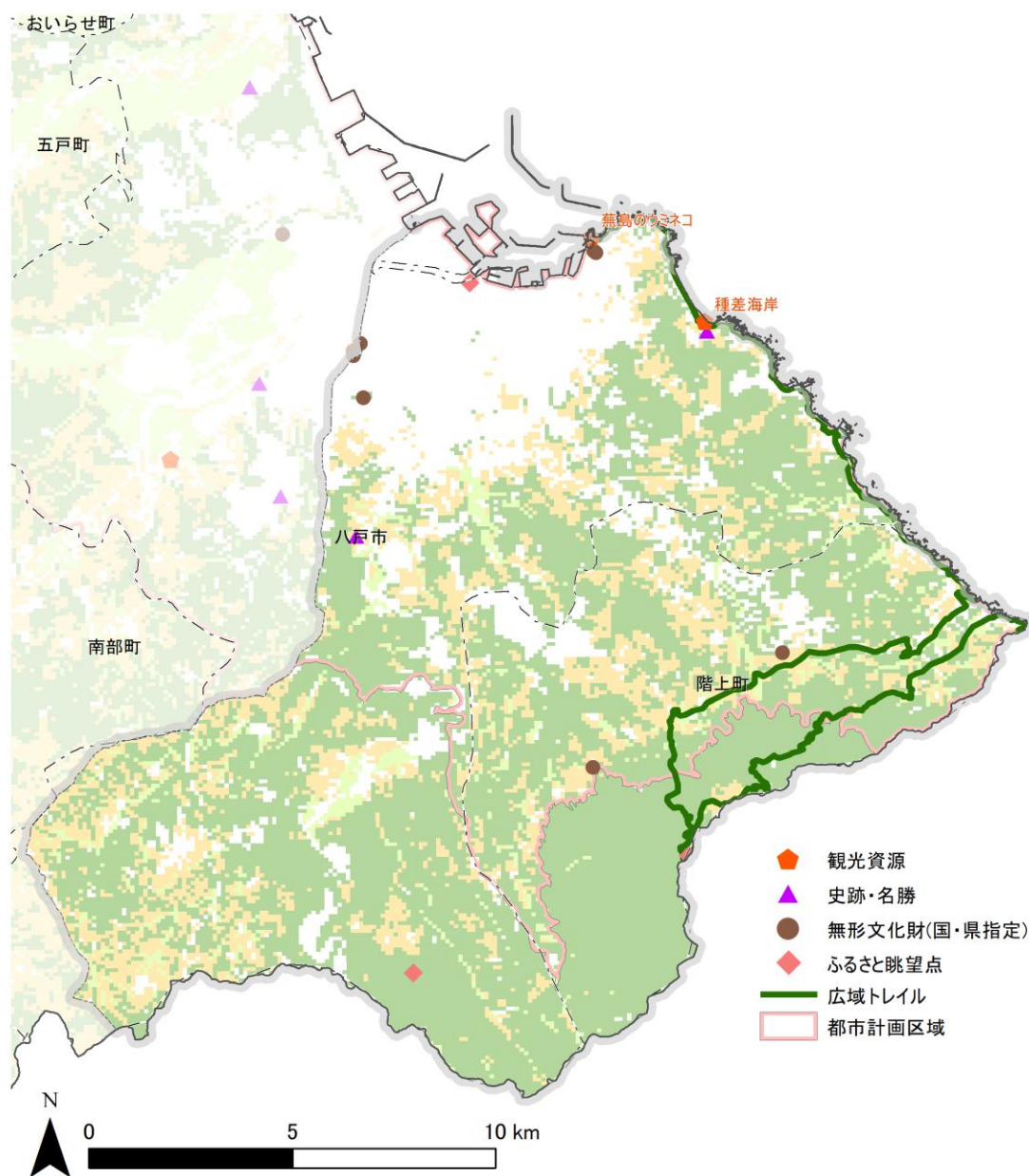
- ・階上岳付近ではスギ・ヒノキ・サワラやアカマツの植林が、その他の樹林地ではアカマツ群落およびアカマツ植林がみられます。
- ・種差海岸の最北に位置する蕪島はウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されています。
- ・種差・階上海岸や階上岳といったみどりは、その豊かな自然環境や変化に富んだ地形から、三陸復興国立公園や三陸ジオパークに指定されています。



● 天然記念物(国・県指定)	ヤナギ低木群落	タラノキークマイチゴ群落	外国産広葉樹植林
● 重要湿地	ケヤキ群落	ヨシクラス	落葉果樹園
▲ 開発等に対して脆弱な生態系	カシワ・ミズナラ群落	コハマギク群落	畑地雑草群落
都市計画区域	カスミザクラ・コナラ群落	アカマツ植林	牧草地、ゴルフ場、飛行場
	シラカンパーササ群落	クロマツ植林	水田雑草群落
	アカマツ群落	スギ・ヒノキ・サワラ植林	自然裸地
	ススキ群団	カラマツ植林	

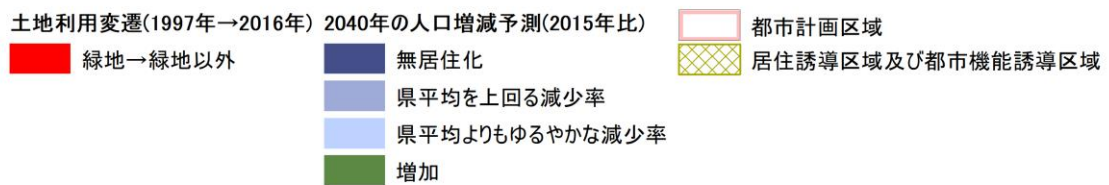
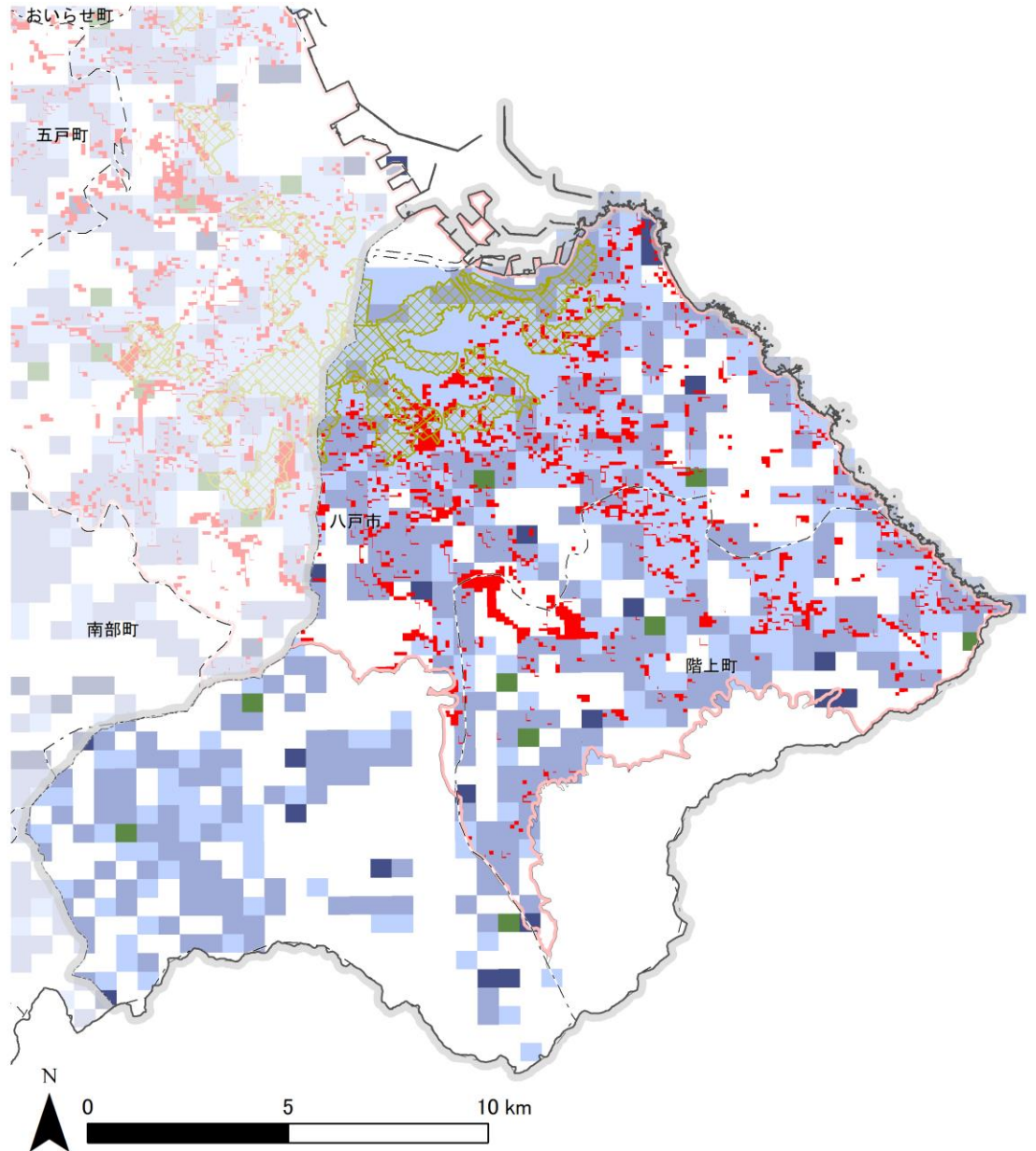
③文化・観光

- ・隣接する馬淵川水系地域との境界近くのおがみ神社、新羅神社、神明宮の三社の合同祭礼である八戸三社大祭の山車行事は、青森県南東部から岩手県北部太平洋岸一帯にかけて広く分布する山車行事の中心であり、国の重要無形民俗文化財に指定されています。
- ・八戸市内の旧柏崎小学校跡地では、八戸三社大祭の振興と保存継承、周辺地域の憩いの場所としての利用促進を目的に山車の制作所および山車小屋と広場を整備しています。
- ・放牧の野馬捕りのさまを芸能化した南部駒踊りや、騎乗武術の訓練を目的にはじめられた加賀美流騎馬打毬は県の重要無形民俗文化財に指定されています。
- ・本地域の海岸沿いは、みちのく潮風トレイルのコースにもなっています。ウミネコやハマナス、天然芝生地といった動植物に間近でふれあうことのできる種差海岸を巡るルートや、ヤマツツジや湧き水が魅力となっている階上岳や、里地里山、里海を巡るルートが設定されています。



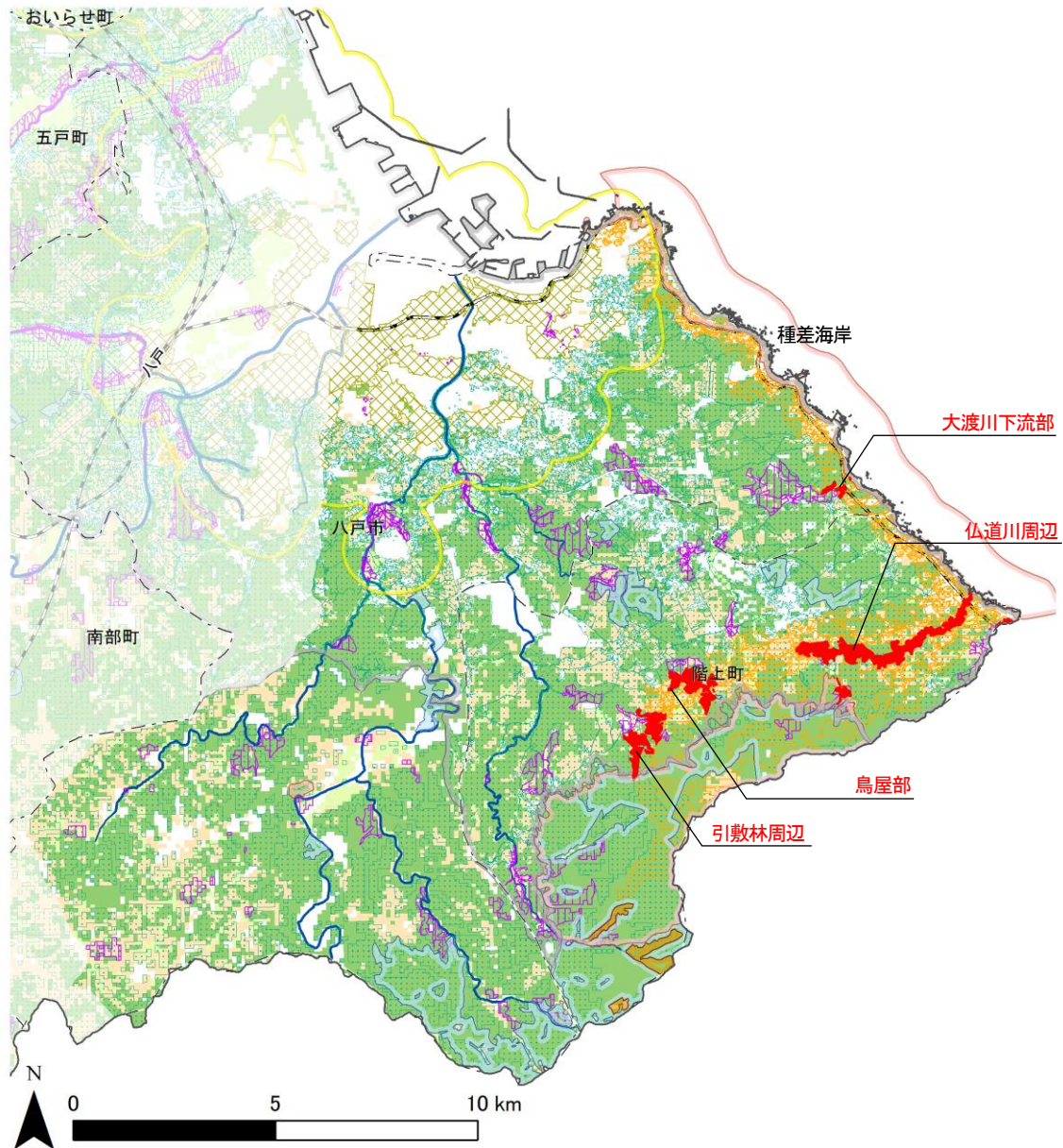
④人口の増減予測地点

- ・市街化区域内の多くの地点では、県平均に比べて緩やかな人口減少が予測されています。一方で海岸沿いや農村部では県平均を上回る減少率や無居住化が予測されています。



2 みどりの取組方向

階上岳等の山林から河川が市街地に注ぎ込んでおり、地域環境の基盤である豊かな山林を地域全体で保全します。また、種差海岸等の海岸線は自然と触れ合う空間として活用します。市街地では、公園や空地进行をコミュニティ継承など地域ニーズに応じて活用します。



保全・活用が重要な緑地

- 特に保全・活用が重要な緑地
- 雨水流出抑制機能の発揮効果が高い緑地
- 県土全体の観光振興につながる緑地
- 生物多様性確保のため保全が重要な緑地
- 市街化区域・居住誘導区域から1km圏内

〈参考〉

- | | | |
|--|--|---|
| 都市計画区域 | 自然公園等 | 田 |
| 居住誘導区域及び都市機能誘導区域 | 国有林 | その他農用地 |
| 保安林 | 森林 | |

7

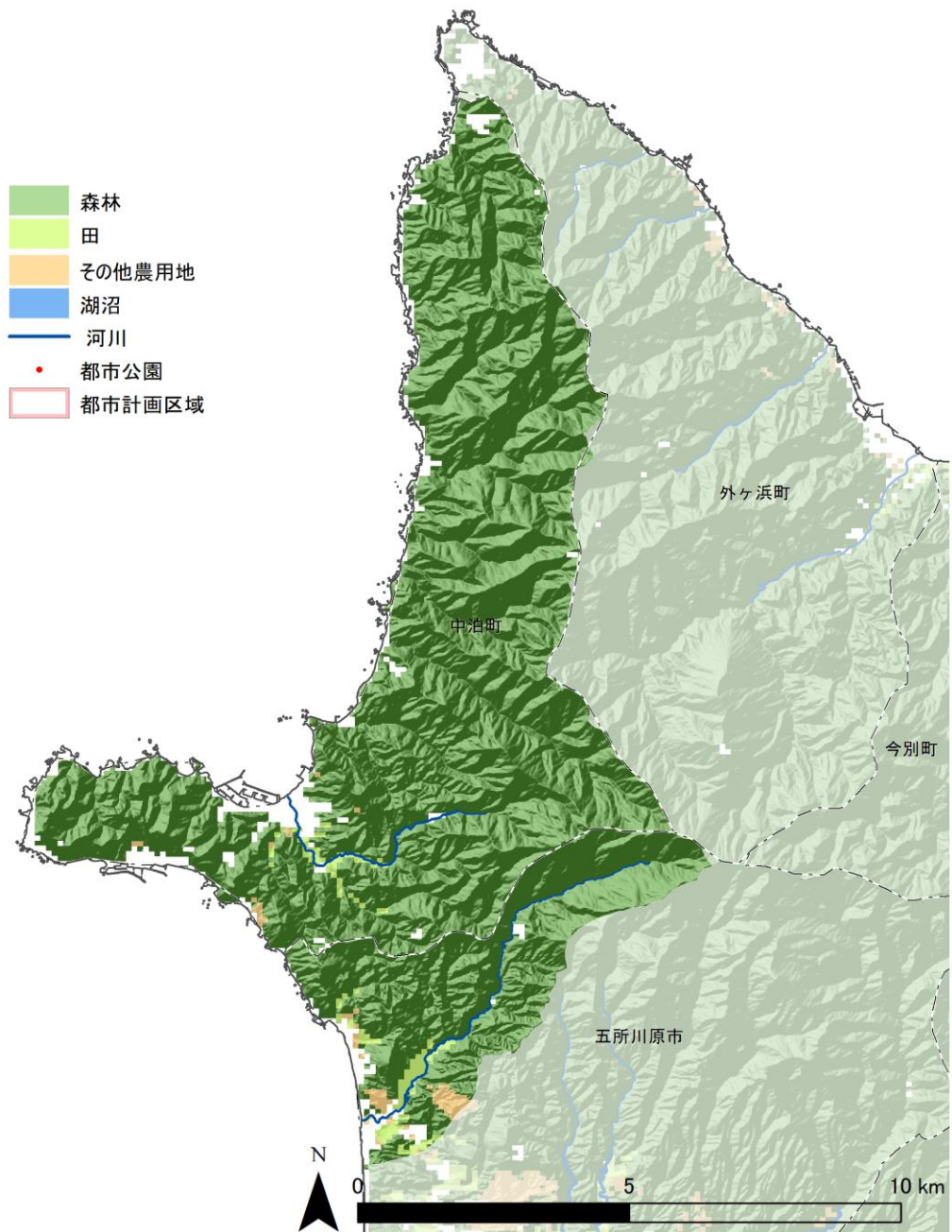
北西北流域地域

1

地域の特徴

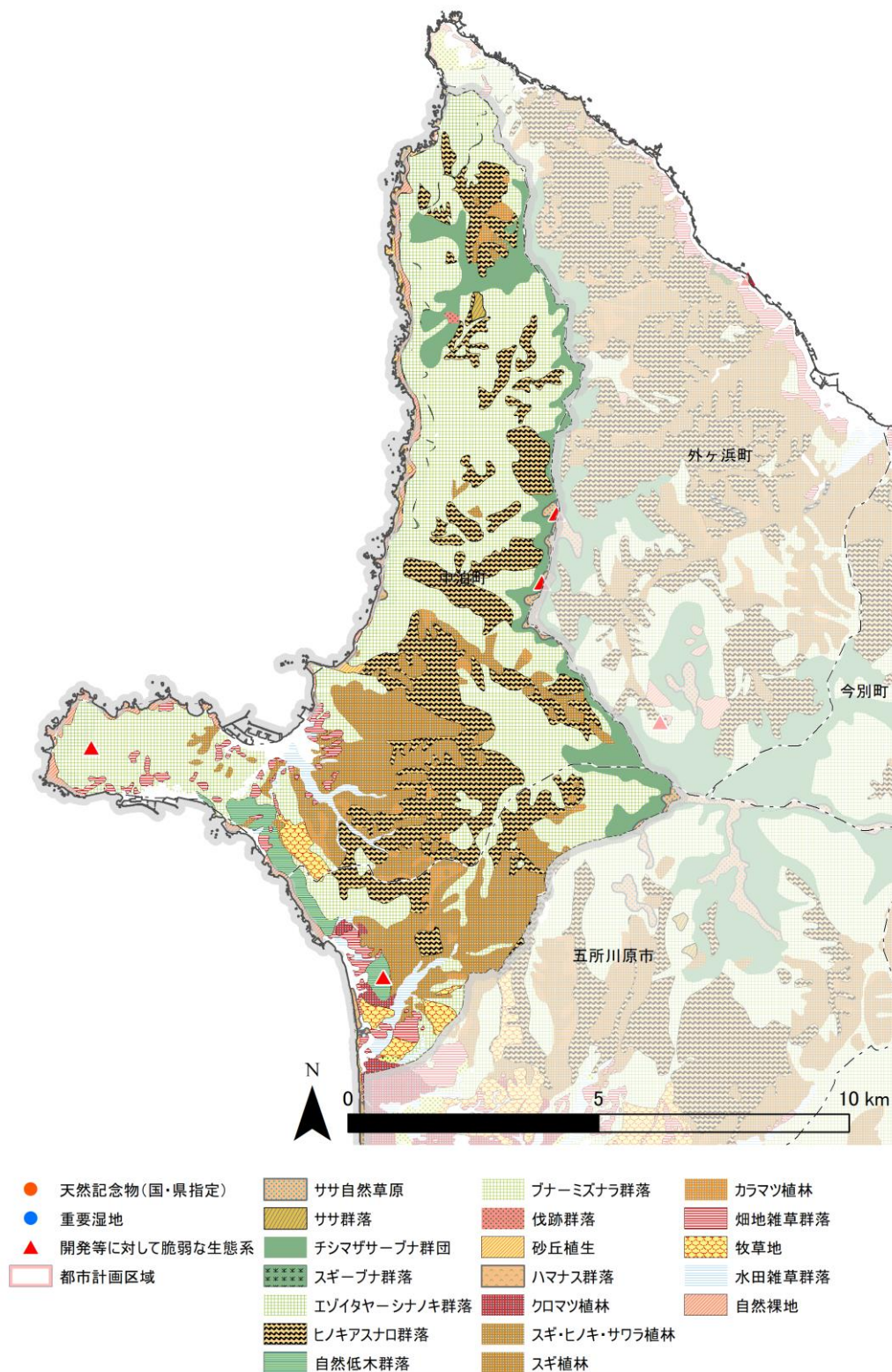
①みどりの構造

- ・津軽平野を南北に走る津軽山地の北端に位置し、地域のほとんどが急斜面の山々からなる山地となっています。山地からは、小泊川、磯松川が日本海へと注いでいます。
- ・地域内では都市計画区域は指定されておらず、日本海沿岸に集落が形成されています。



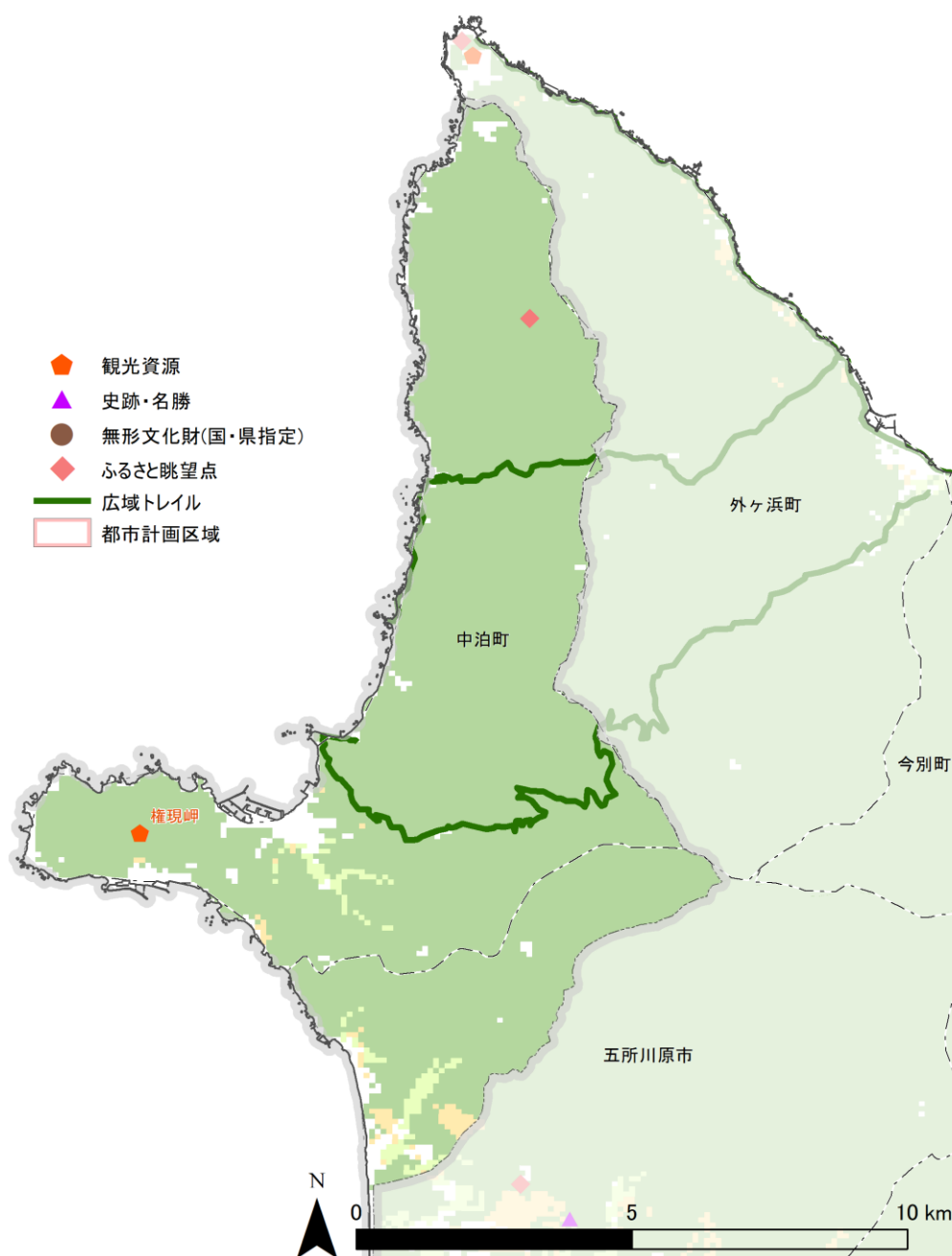
②生物の生息・生育

- ・隣接する東青流域地域の北端部竜飛岬から、本地域の権現崎にかけては岩石海岸となっており、海蝕台や海蝕洞、海蝕崖など変化に富んだ海岸地形を有していることから十三湖や屏風山地区からなる砂丘景観および岩木山、白神山地からなる山岳部と共に津軽国定公園に指定されています。
- ・南部にはスギ植林が、権現崎や北部にはブナ・ミズナラ群落分布しています。



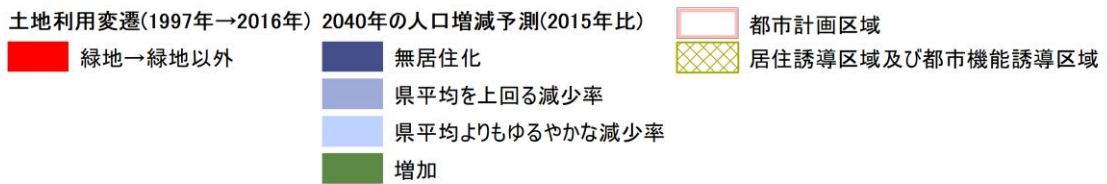
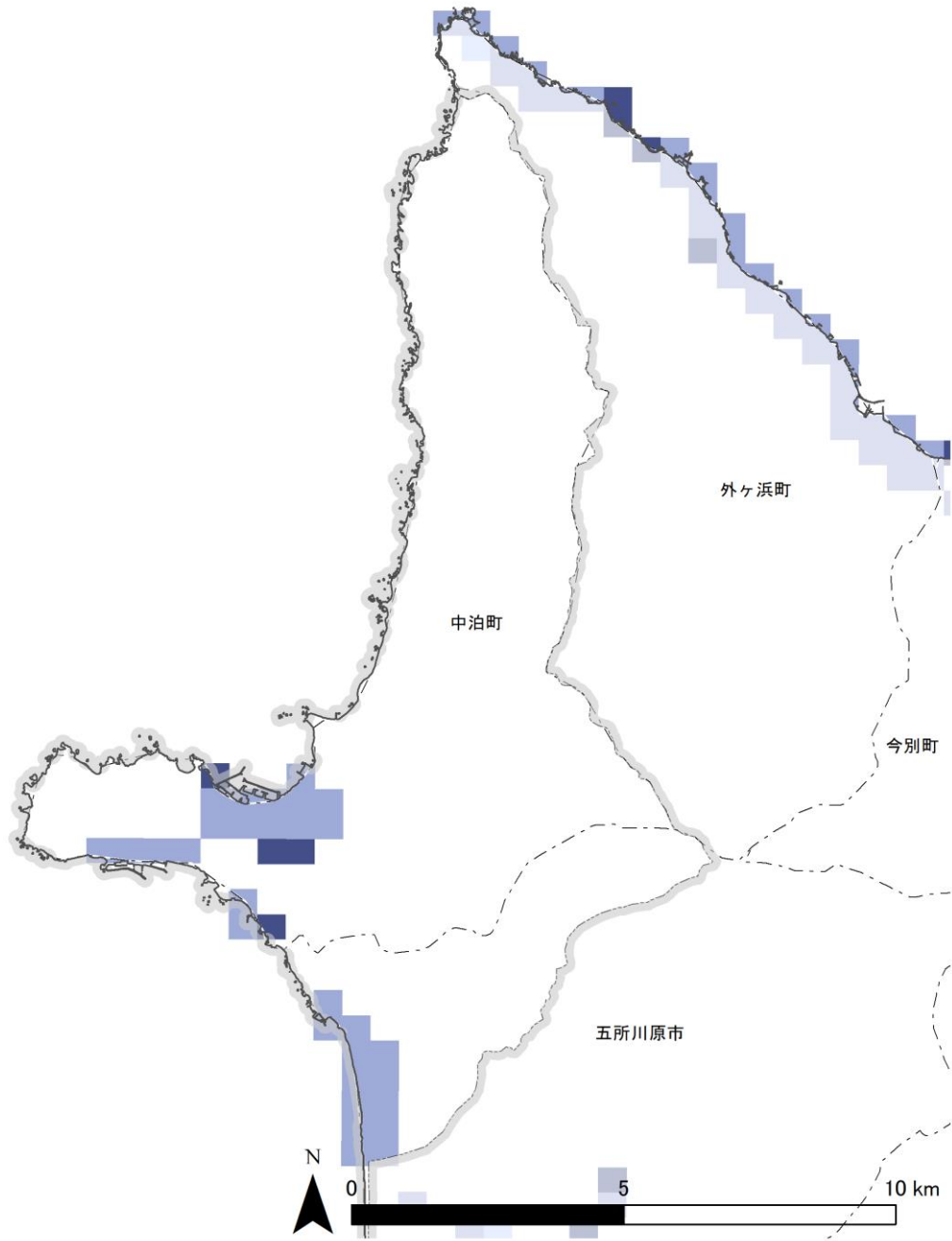
③文化・観光

- ・ 本地域は海を有すること、断崖や急峻な山々といった特徴的な景観を持つことから、漁業および観光が主な産業となっています。
- ・ 国定公園の一部である権現崎や、溪流や滝を有する山地は、本地域を代表する観光地となっています。
- ・ 本州最果ての情景や森林鉄道が残した近代遺産を舞台にした奥津軽トレイルが通っており、七ツ滝や溪流沿いの林道、中泊町と外ヶ浜町を隔てる算用師峠を巡るコース、地元住民から「ひば峡道」と呼ばれる県道 286 号線を通り、道の駅こどもりへと至るコースが設定されています。



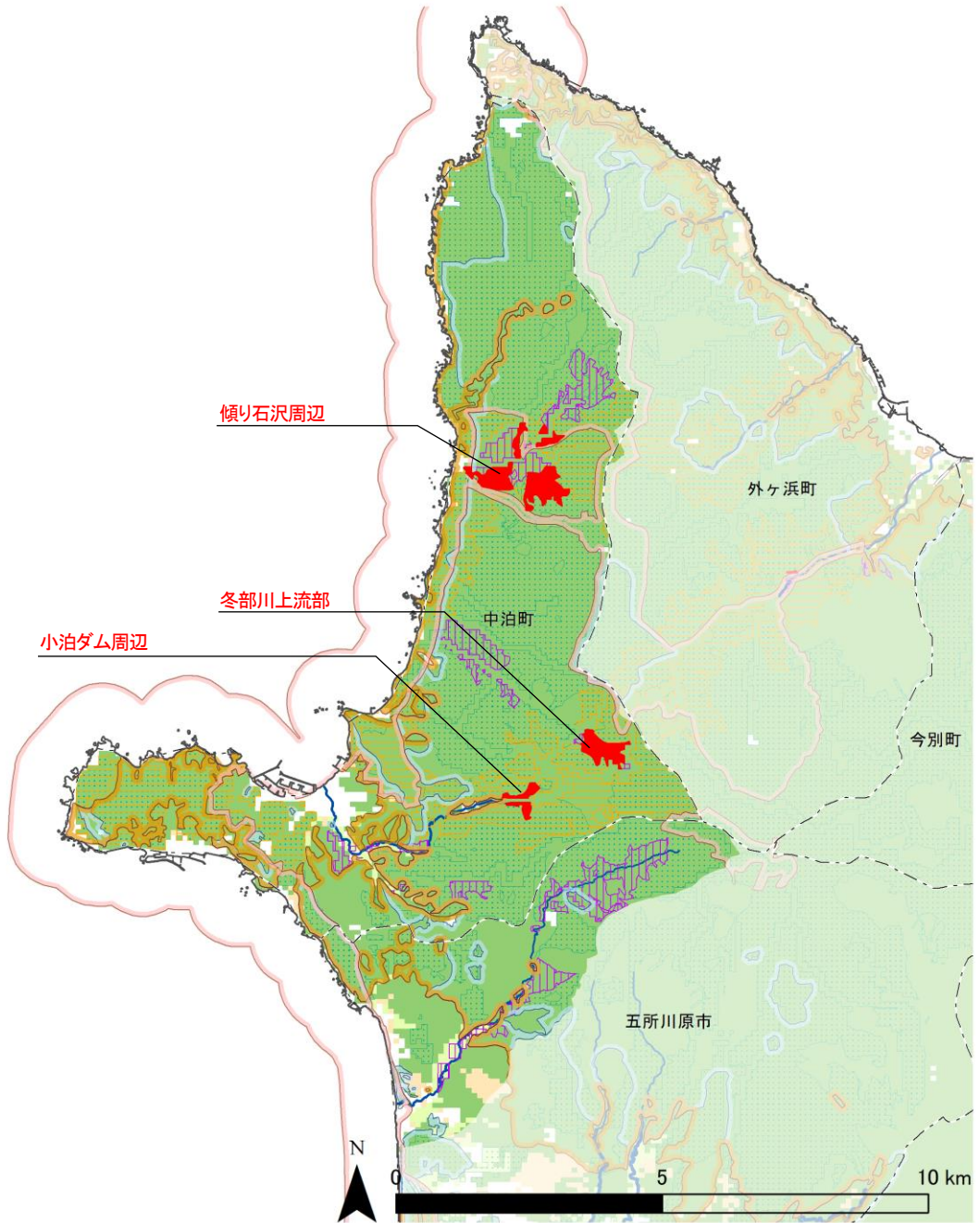
④人口の増減予測地点

・海岸沿いの集落は広く県平均を上回る減少率での人口減少が予測されています。



2 みどりの取組方向

主な産業である漁業や観光の基盤となる自然環境を保全します。また、奥津軽トレイルなどの活用により住民及び観光客が豊かな自然環境と触れ合う場を創出します。



保全・活用が重要な緑地

- 特に保全・活用が重要な緑地
- 雨水流出抑制機能の発揮効果が高い緑地
- 県土全体の観光振興につながる緑地
- 生物多様性確保のため保全が重要な緑地

〈参考〉

- 自然公園等
- 田
- 国有林
- その他農用地
- 保安林
- 森林

8 南西北流域地域

1 地域の特徴

①みどりの構造

- ・ 本地域は、白神山地に端を発する赤石川、追良瀬川をはじめ日本海に注ぐ河川の流域によって構成されています。地域の北側は、岩木川水系に含まれないつがる市の湿原池沼群の範囲を含んでいます。
- ・ 地域のお大半が山林で構成されており、山並みを背景に変化に富む海沿いに漁村集落や市街地が位置しています。農地は、追良瀬川下流域に河川沿いと鱒ヶ沢町西部の岩木山山麓部、深浦町の段丘上など限られた場所に分布しています。



②生物の生息・生育

- ・河川上流域は白神山地であり原生的なブナの天然林が広がっています。多様な植物群落
が形成されていることで、多くの動物が生息する価値の高い自然生態系が成立しており、
自然公園や世界自然遺産等に指定されています。山林の大半が国有林となっています。
- ・追良瀬川をはじめ深浦町が有する海岸線は、砂浜海岸や岩礁など変化に富んだ海岸景観
が広がり、カモやカモメの飛来地としても重要な場となっており、津軽国定公園に指定
されています。つがる市の海沿いに連なる七里長浜海岸の背後には屏風山砂丘が位置し、
防風・防砂林によって後背部の津軽平野の水田を保護しています。



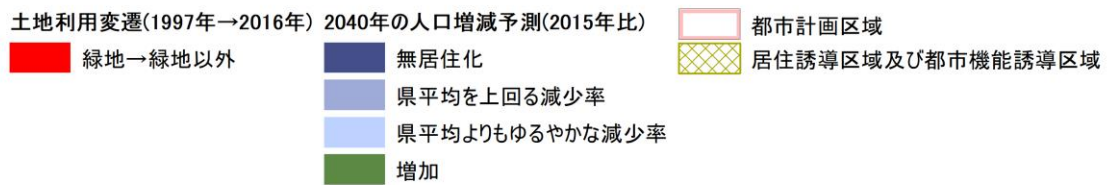
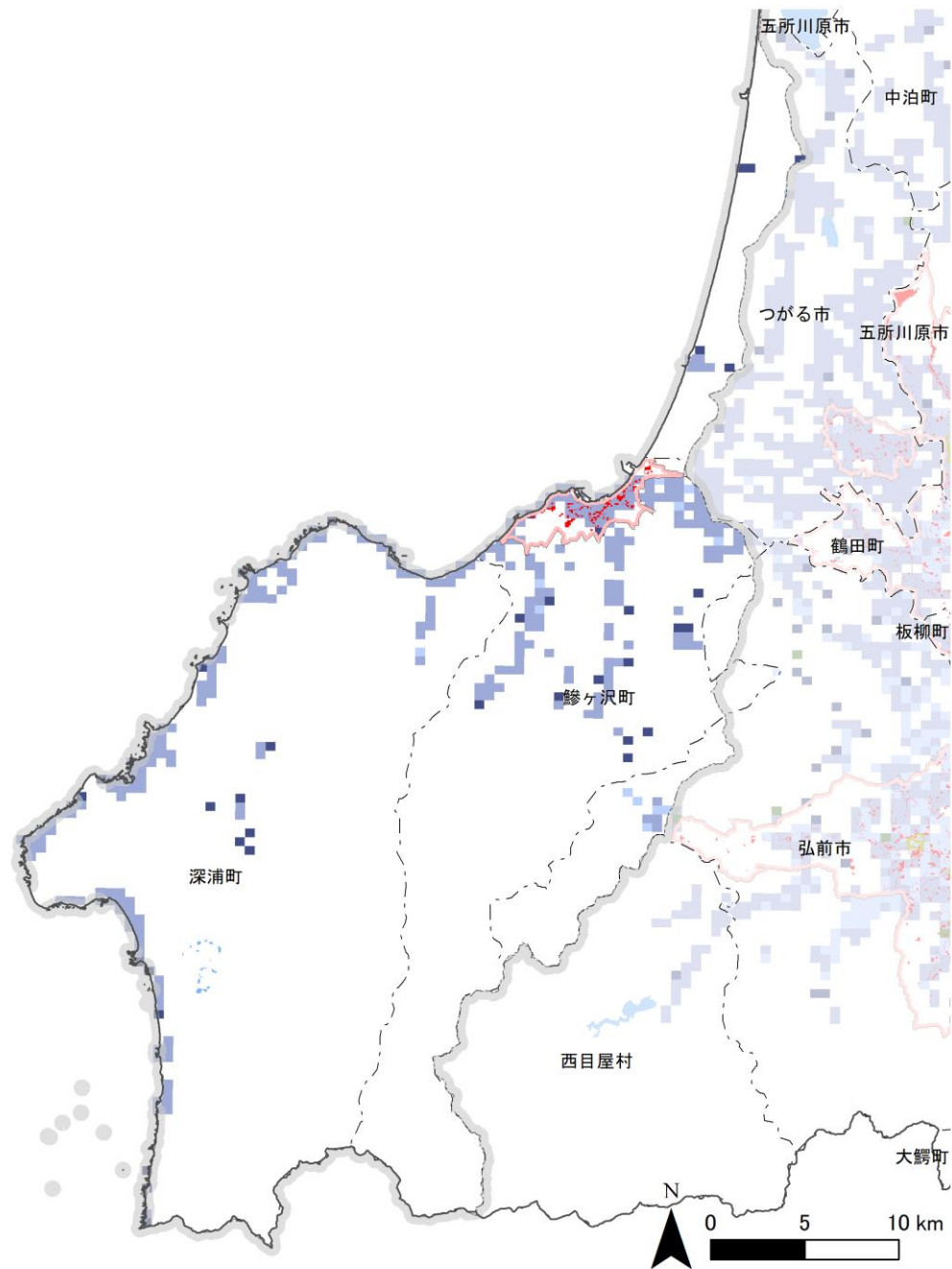
③文化・観光

- ・山林と海岸によって大半が構成されている本地域では、自然環境を生かした観光が盛んです。白神山地をはじめ山林では、遊歩道等が整備され、豊かな自然とふれあえる場がつくられています。その他十二湖や日本キャニオンなど、自然がつくる絶景が、観光スポットとなっています。
- ・河川では、サケやアユが遡上することから、多くの釣り客を集めています。河川沿いの水田周辺は、古くからの集落が位置しており、観音堂や城址などの歴史文化資源が位置しています。



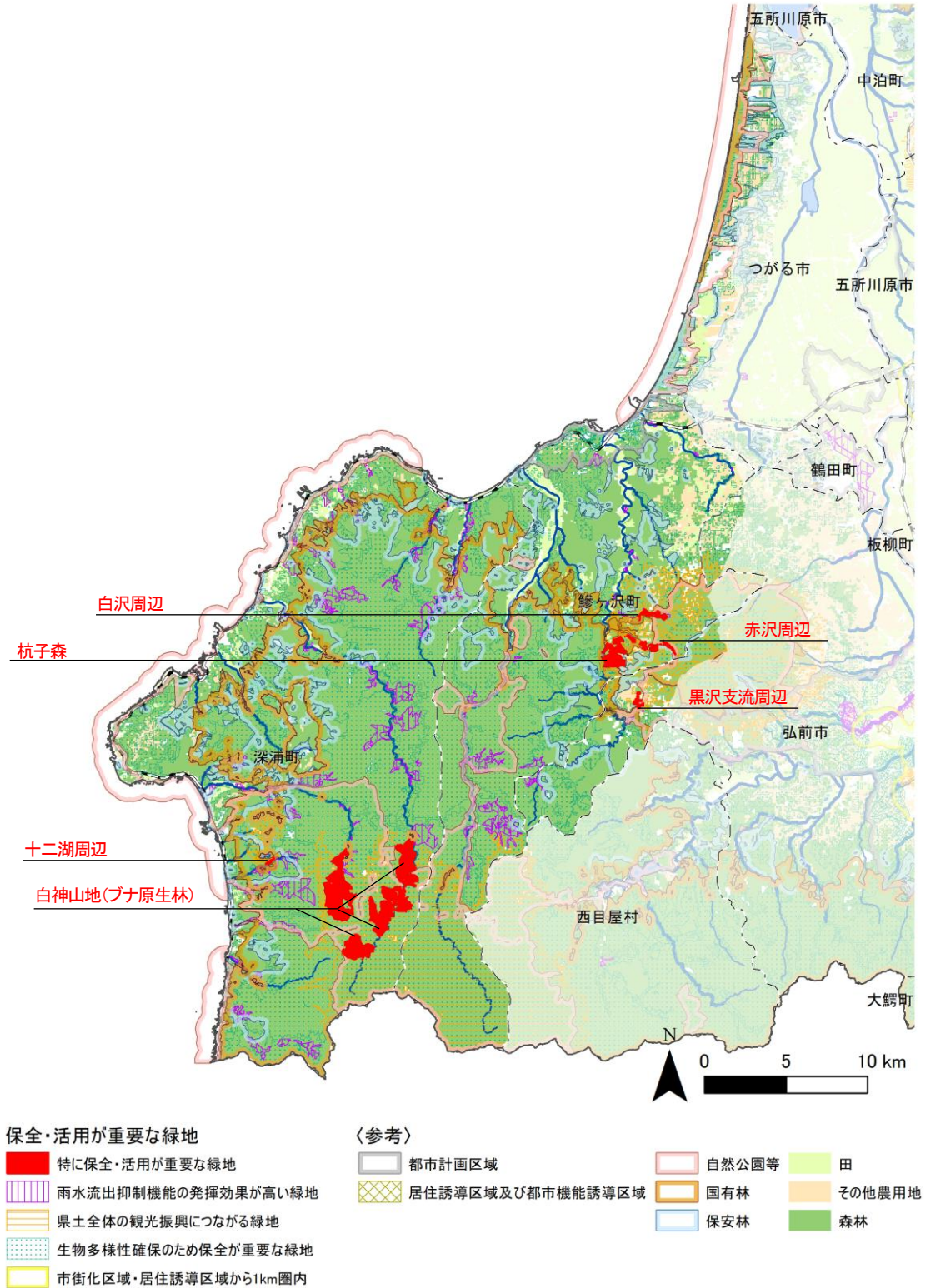
④人口の増減予測

- ・ 鱒ヶ沢町の都市計画区域内や海岸沿い、河川沿いの集落では、今後、県平均を上回る減少率で、人口が減少していくと予測されています。



2 みどりの取組方向

白神山地の原生的なブナの天然林等希少な植生を保全するとともに、極めて高い自然性に配慮しながら山林を自然との触れ合いの場として活用します。また、生物多様性や観光振興に重要なみどりである砂丘や岩礁等変化に富む海岸も地域全体で保全します。



9

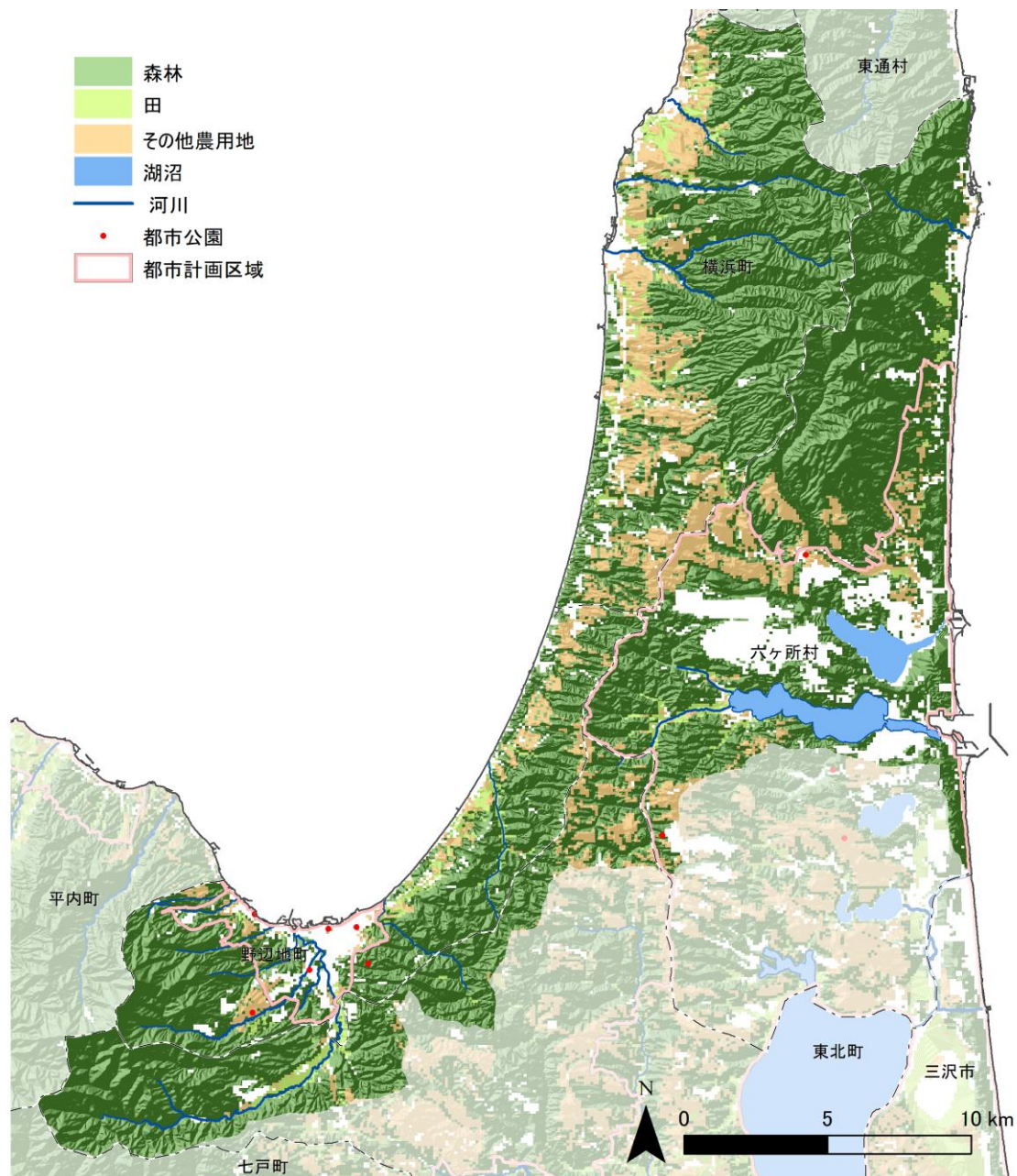
北上北流域地域

1

地域の特徴

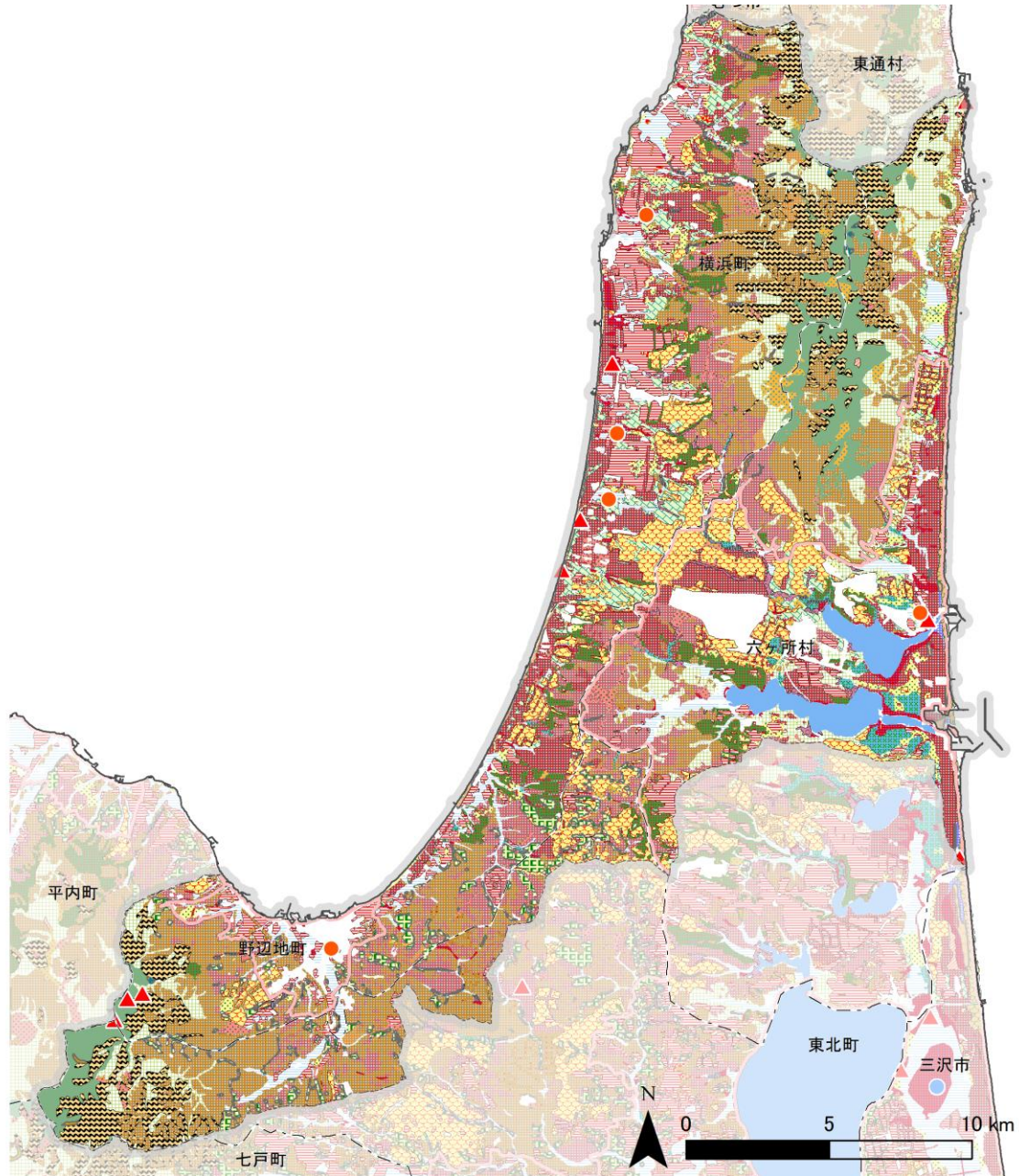
①みどりの構造

- ・北部の横浜町と六ヶ所村の境界部は下北丘陵が南北に伸びる山地、野辺地町、東北町の西部は八甲田山系へ続く山地となっており、それぞれむつ湾と太平洋に注ぐ河川が流れています
- ・六ヶ所村の低地は尾駁沼や、鷹架沼等の小川原湖湖沼群を有しています。
- ・むつ湾に面した低地では、水産業や、畜産業、農業が盛んであり、農地と海を見渡すことのできるふるさとの景観が形成されています。



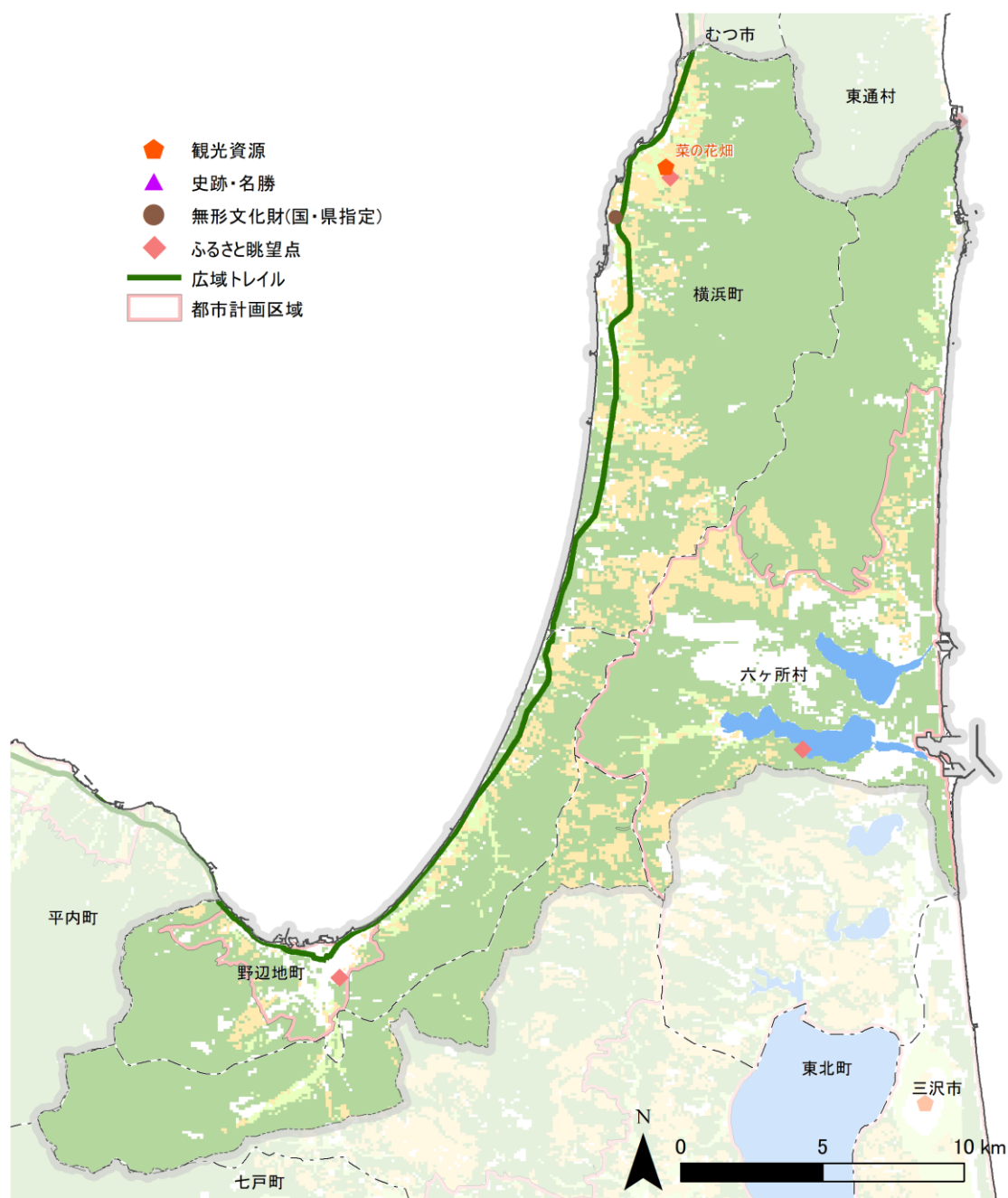
②生物の生息・生育

- ・汽水湖である尾駈沼、鷹架沼には多様な動植物が生息しています。湖沼群にはヨシを主体とする湿原の植物群落が見られ、ハクチョウやガン・カモ類の繁殖地となっています。
- ・山地にはスギやアカマツの植林地が多い一方で、下北半島の頸部である北部の丘陵地では、ブナ・ミズナラ群落も見られます。
- ・横浜町にはゲンジボタルが生息しており、北限種として天然記念物に指定されています。



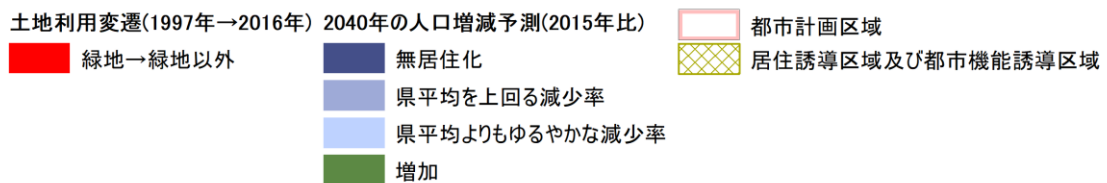
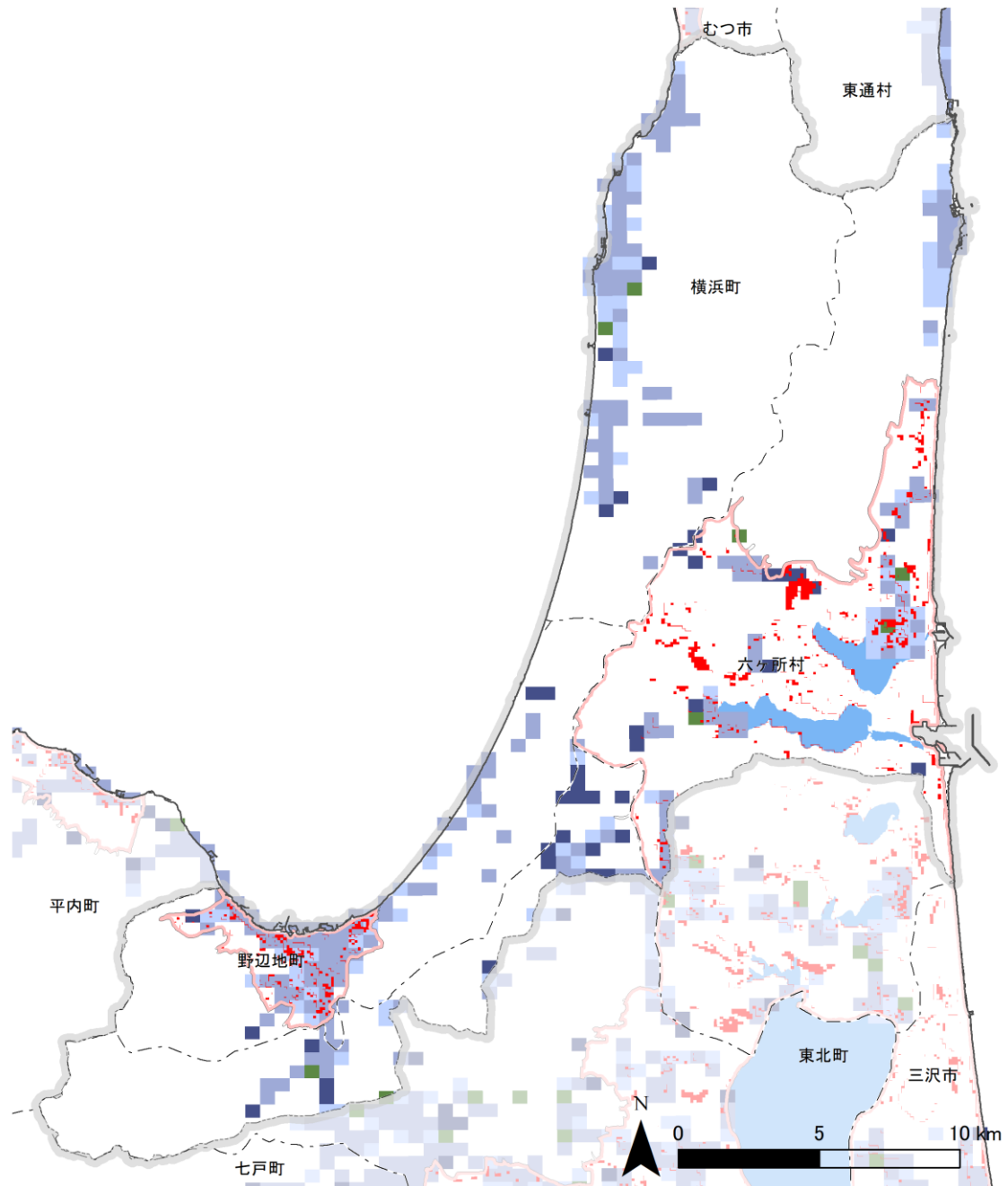
③文化・観光

- ・八甲田山系の高原や湿原群、十和田湖、温泉といった豊かな自然環境は観光資源となっています。
- ・むつ湾に面した地域では、ホタテやナマコ等の水産業や、畜産業、イモ類を中心とした農業が盛んです。輪作を行う農地では、後作の品目として菜の花が盛んに栽培されています。横浜市では菜の花畑に面したコースでのマラソンや、特産品の販売を行う菜の花フェスティバルを毎年開催しており、地域の重要な観光資源となっています。
- ・六ヶ所村では、ウィンドファームやメガソーラーといったエネルギー関連施設を資源として捉え、農畜産業や漁業体験等のその他の地域資源や主要施設と連携した村特有の観光スタイルの創出を目指しています。



④人口の増減予測地点

- ・野辺地町、六ヶ所村の都市計画区域内や、横浜町の臨海部の住宅地では、県平均を上回る人口減少率が予測されており、都市計画区域外の山地では無居住化が予測されています。
- ・山間部では、所有者の管理不足による倒木などで、交通障害や電力線通信線等生活インフラに影響を及ぼす頻度が高くなっています。



2 みどりの取組方向

低い山稜を背景に、緩やかに起伏する田園を菜の花畑や農畜産業体験等、市民や観光客の自然との触れ合いの場として活用します。また、潟湖や長大な砂丘海岸と背後の防雨林が形成する特徴的な自然景観を保全します。



保全・活用が重要な緑地

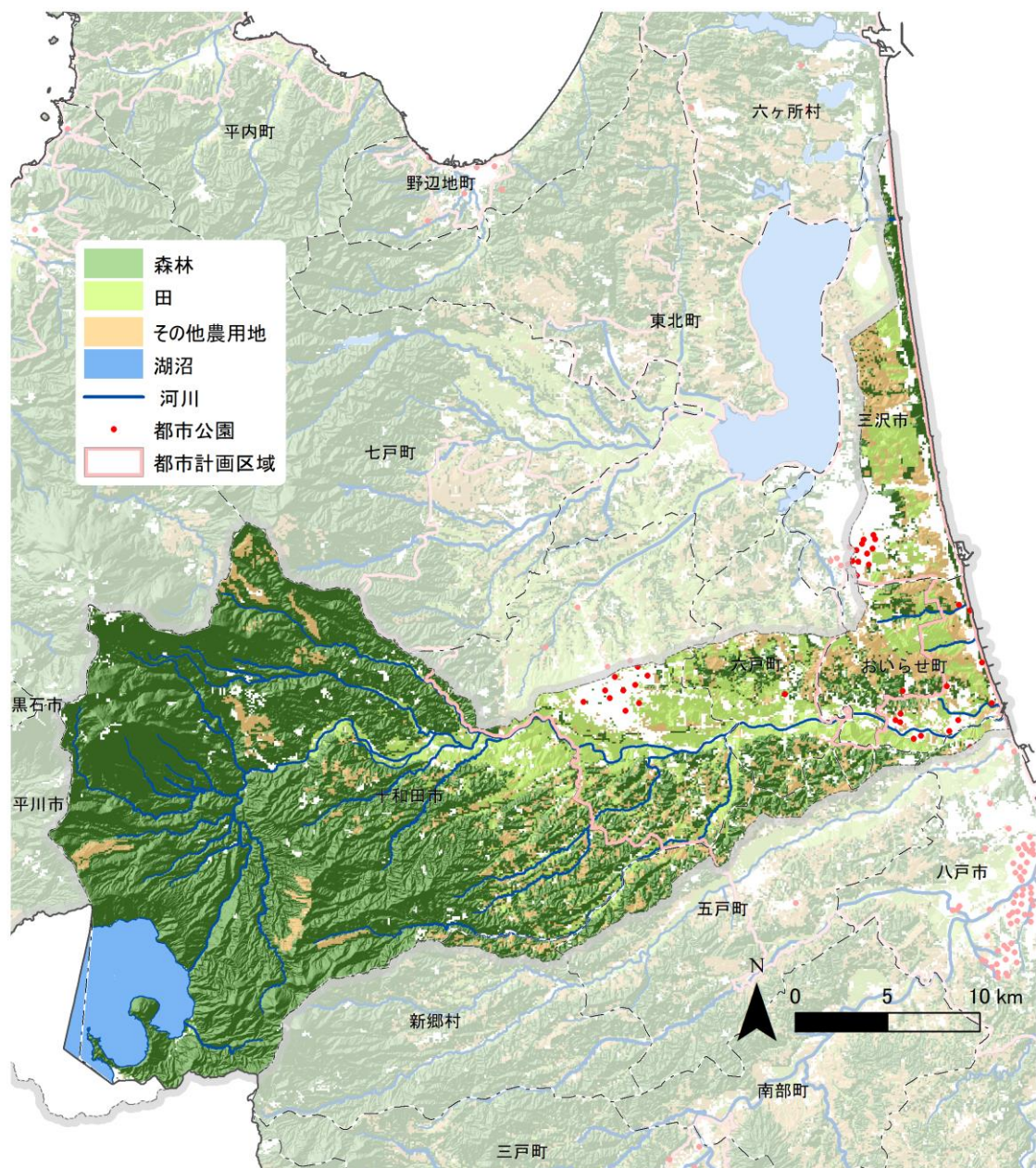
- 特に保全・活用が重要な緑地
- 雨水流出抑制機能の発揮効果が高い緑地
- 県土全体の観光振興につながる緑地
- 生物多様性確保のため保全が重要な緑地
- 市街化区域・居住誘導区域から1km圏内

〈参考〉

- 都市計画区域
- 自然公園等
- 田
- 国有林
- その他農用地
- 保安林
- 森林

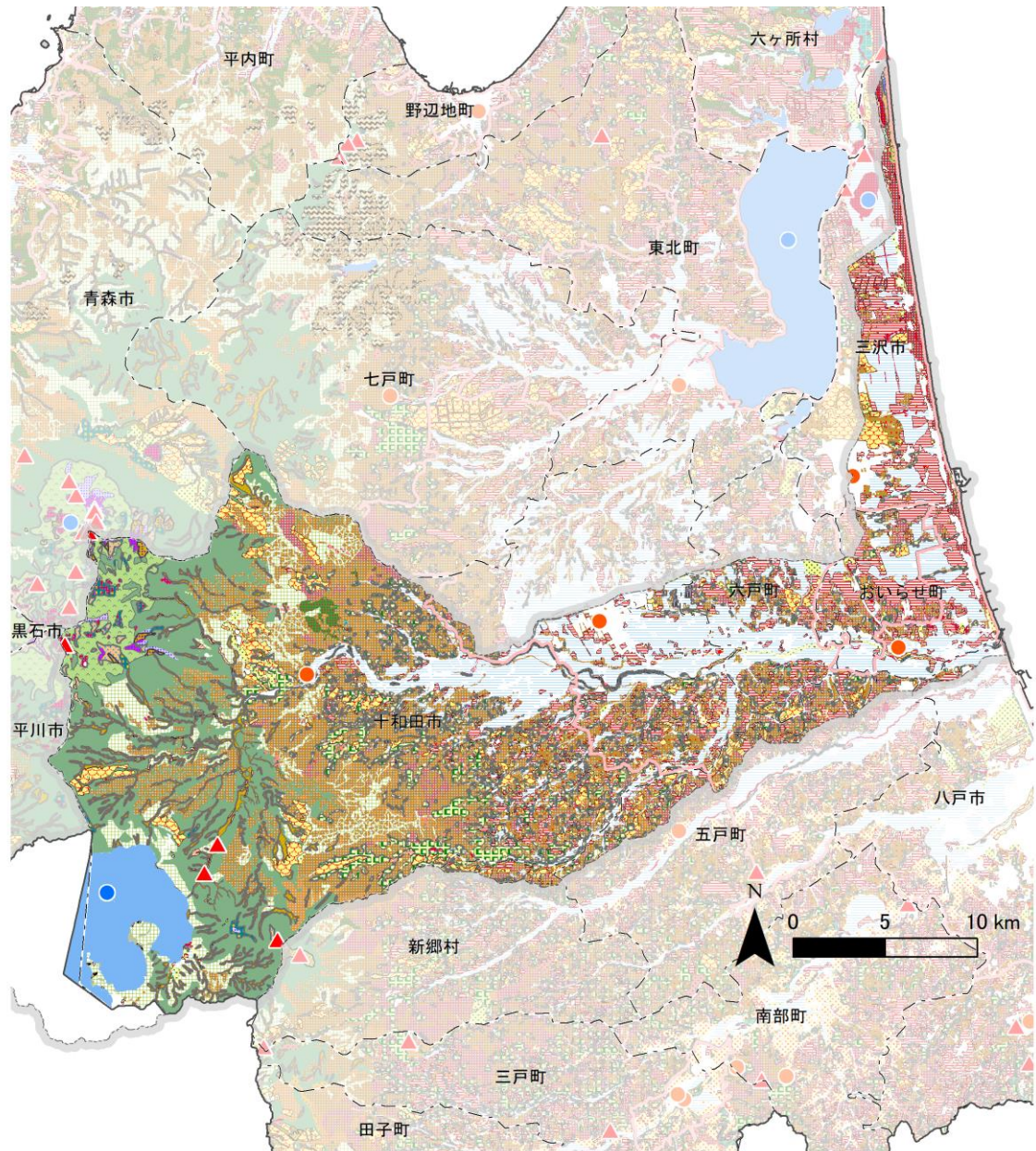
①みどりの構造

- ・西部の八甲田山系に端を発する、奥入瀬川をはじめとする河川が農地や都市部を貫き、太平洋へと繋がっています。
- ・中流部では、奥入瀬川や開拓時に造られた稲生川を中心とした複数の河川と、河川沿いに広がる農地がふるさとの景観を形成しています。
- ・中流部から下流部にかけて、都市公園が鉄道沿線や国道沿いに多く分布しています。



②生物の生息・生育

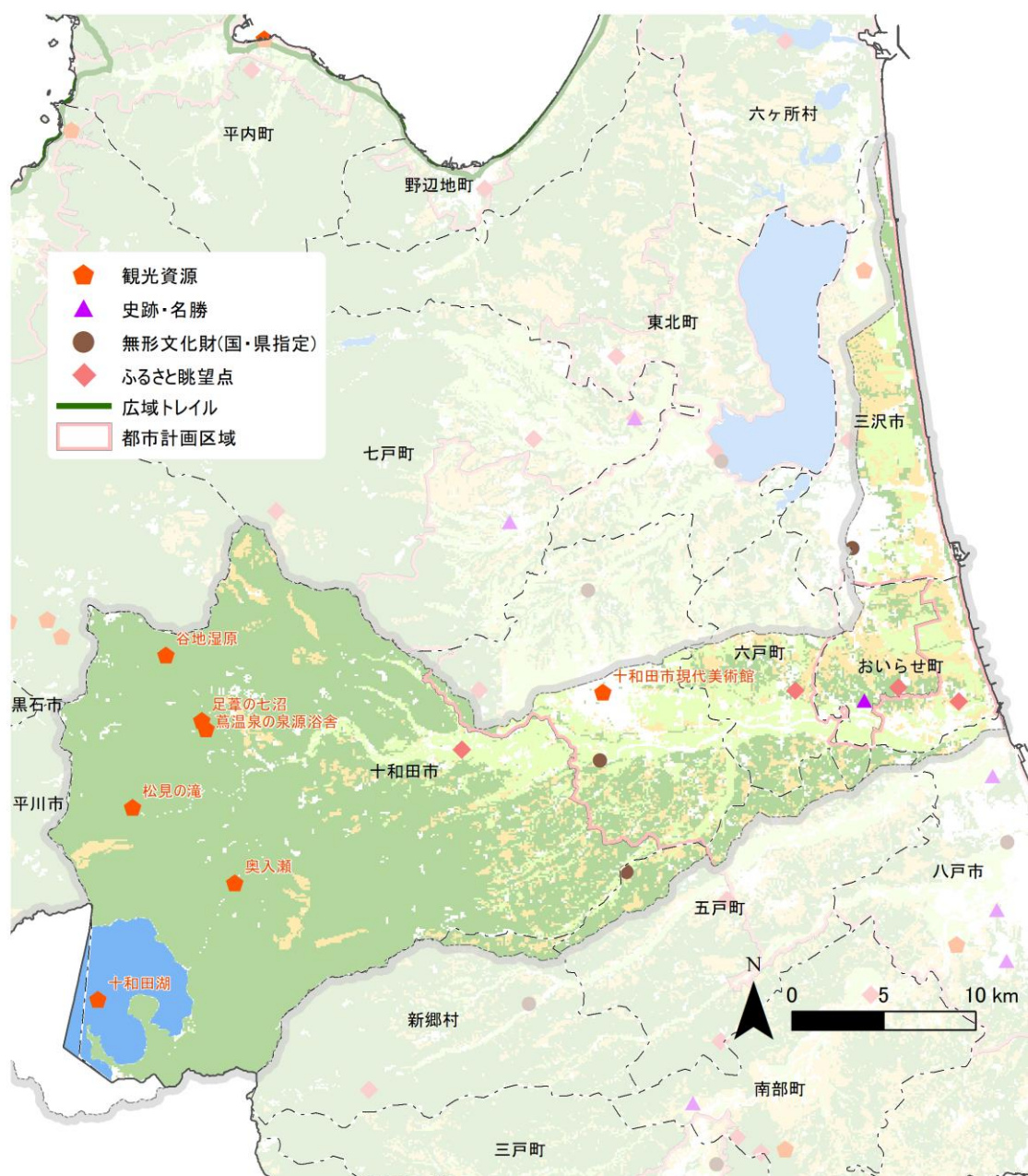
- ・河川上流部から中流部にかけては、国立公園に指定される八甲田山や十和田湖、国の特別名称及び天然記念物にも指定されている奥入瀬溪流といった水に恵まれた山地が広がり、豊かな自然環境を形成しています。
- ・十和田八幡平国立公園に指定されている奥入瀬溪流周辺の上流域には、現在もブナの天然林が残されています。
- ・おいらせ町の下田公園は里山公園として整備されており、冬季には白鳥が飛来します。



● 天然記念物(国・県指定)	■ オオシラビソ群集	■ カスミザクラ・コナラ群落	■ スギ・ヒノキ・サウラ植林
● 重要湿地	■ ササ自然草原	■ アカマツ群落	■ カラマツ植林
▲ 開発等に対して脆弱な生態系	■ チシマザサ・ブナ群団	■ ススキ群団	■ 落葉広葉樹植林
□ 都市計画区域	■ エゾイタヤ・シナノキ群落	■ ヨシクラス	■ 畑地雑草群落
	■ ジュウモンジシダー・サウグルミ群集	■ ハマニクニク・コウボウムギ群落	■ 牧草地、ゴルフ場、飛行場
	■ プナ・ミズナラ群落	■ アカマツ植林	■ 水田雑草群落
	■ カシワ・ミズナラ群落	■ クロマツ植林	■ 自然裸地

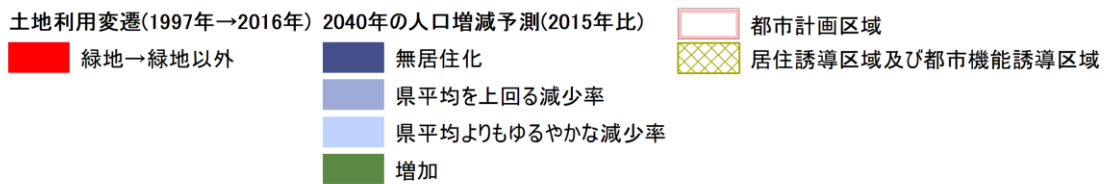
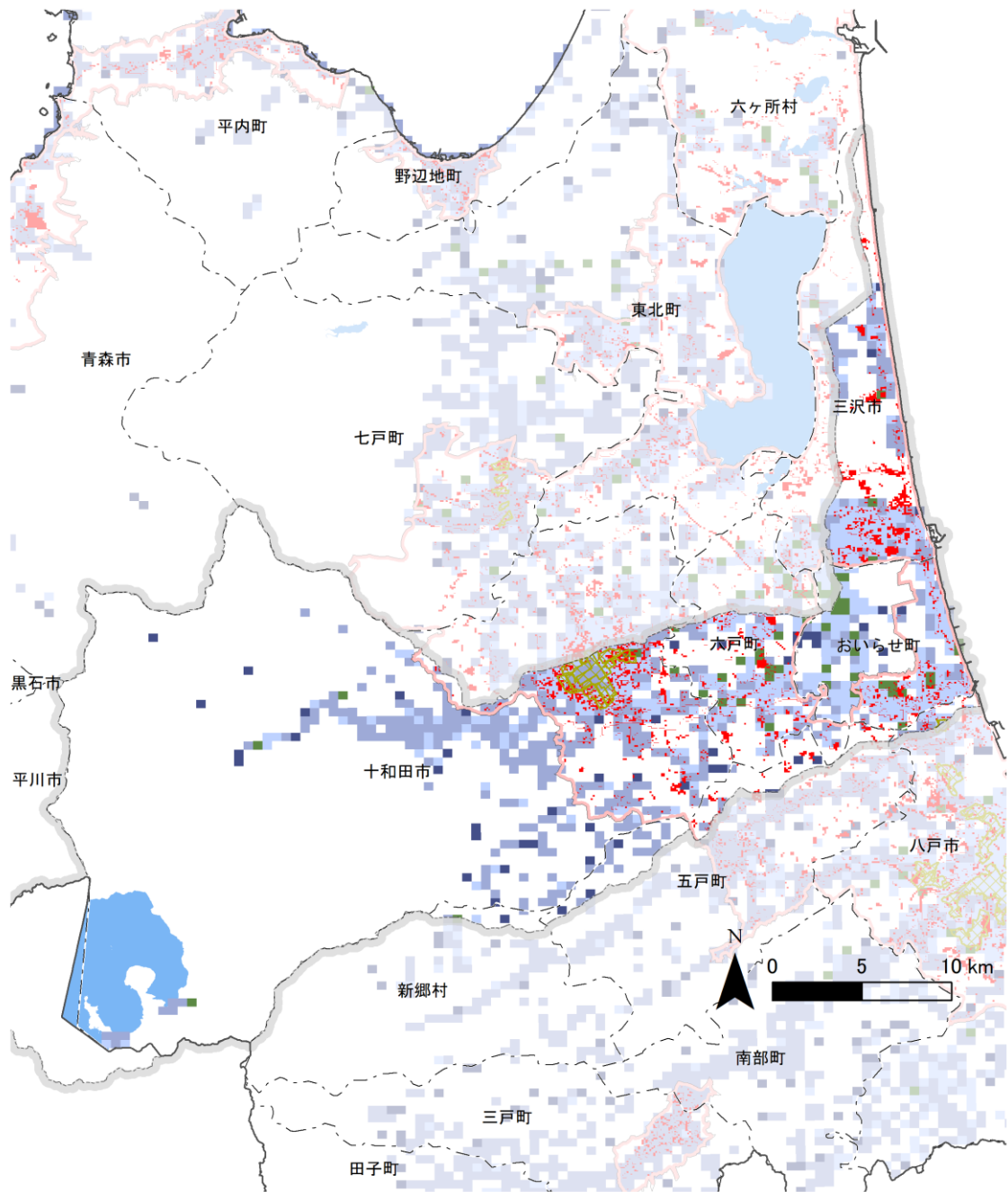
③文化・観光

- ・ 溪畔林が豊かな奥入瀬溪流が地域の重要な観光資源となっています。この自然環境を保全するため、官民一体となって「奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト」を進め、マイカー交通規制の取組等を実施しています。
- ・ 牧場に放された馬を捕獲する様子を表した南部駒踊や、南部切田神楽といった伝統行事が行われており、県の無形民俗文化財に指定されています。
- ・ 八甲田山系の高原や湿原群、十和田湖、温泉といった豊かな自然環境は観光資源となっています。
- ・ 幕末におこなわれた三本木原開拓によって造られた人工河川である稲生川は県内有数の米の生産地である十和田市の農業を支えています。開拓時に農作物を守るために植えられた防風林が特徴的な景観を形成しています。



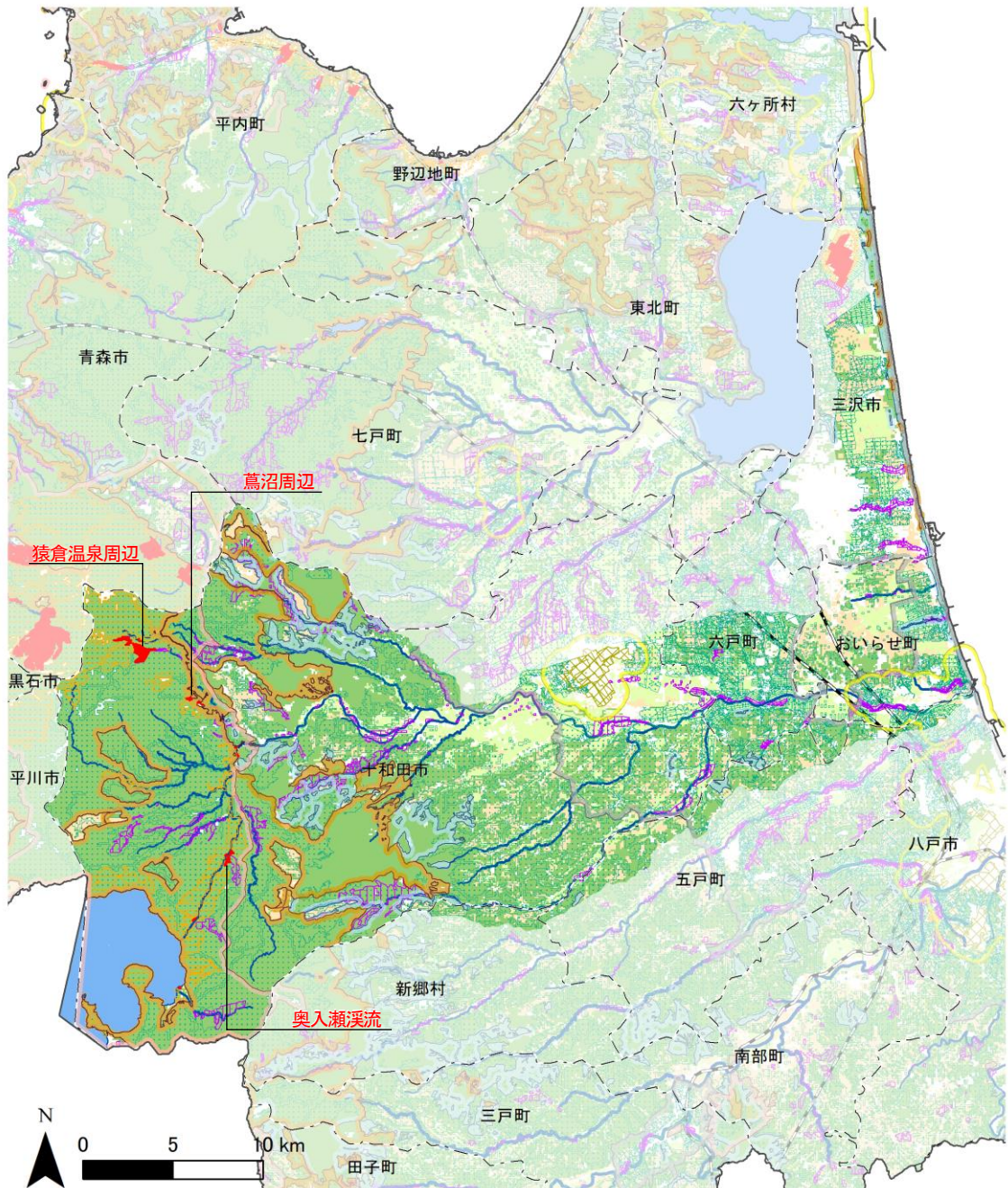
④人口の増減予測地点

- ・山間部をはじめ広い範囲で県平均を上回る減少や無居住化が進むと予測されています。おいらせ町の北部では、今後も人口の増加が予測されています。



2 みどりの取組方向

八甲田山や奥入瀬溪流等が育む豊かな水に恵まれた山地は、本地域の重要な観光資源であり、中流域に広がる農地を支えていることから地域全体が連携して保全します。また、ゆるやかな丘陵地に広がる農地や防風林が形成するふるさとの景観を保全・活用します。



保全・活用が重要な緑地

- 特に保全・活用が重要な緑地
- 雨水流出抑制機能の発揮効果が高い緑地
- 県土全体の観光振興につながる緑地
- 生物多様性確保のため保全が重要な緑地
- 市街化区域・居住誘導区域から1km圏内

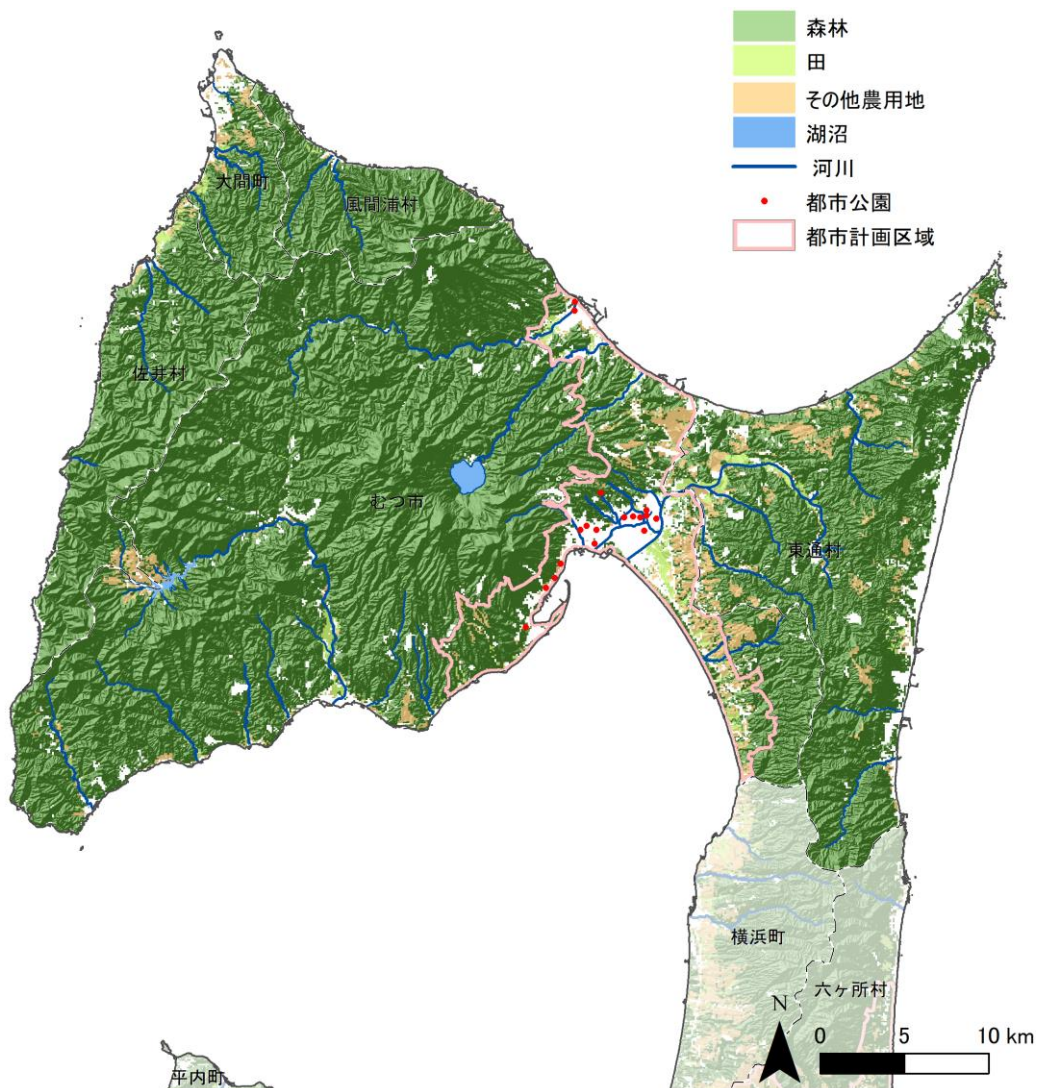
〈参考〉

- 都市計画区域
- 自然公園等
- 田
- 居住誘導区域及び都市機能誘導区域
- 国有林
- その他農用地
- 保安林
- 森林

1 地域の特徴

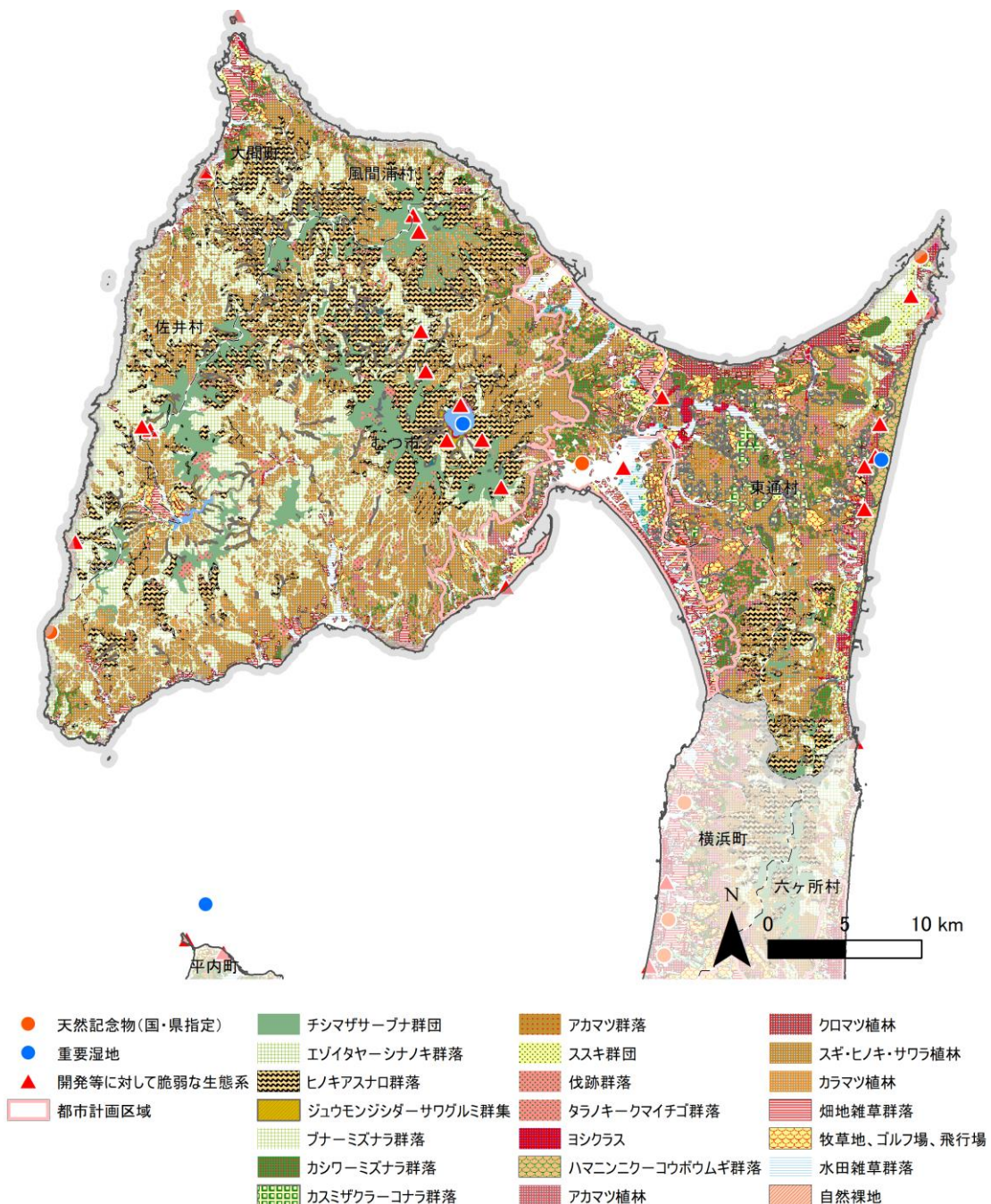
①みどりの構造

- ・太平洋、津軽海峡、陸奥湾の3つの海に囲まれており、西部の恐山山地、東部の下北丘陵に端を発した大畑川、川内川など複数の河川がそれぞれの海に注いでいます。また、東通村東部には大沼や長沼などの湖沼がみられ、豊かな水環境に恵まれています。恐山山地と下北丘陵の間には田名部平野が広がっており、多様な海と地形を有しています。
- ・北部の燧岳、西部の縫道石山、むつ市の都市部付近の釜臥山を主とする恐山山地は豊かな自然を有すると共に、林業生産の場として人々の暮らしを支えてきました。
- ・田名部平野は低地で開発がしやすいため、むつ市の市街地が形成されました。また、市街地付近の河岸段丘は酪農地帯として開発されています。
- ・むつ市市街地やその周辺には、P-PFI 制度を導入した代官山公園や近隣施設と連携した整備を進める金谷公園など、民間と連携した都市公園が整備されています。



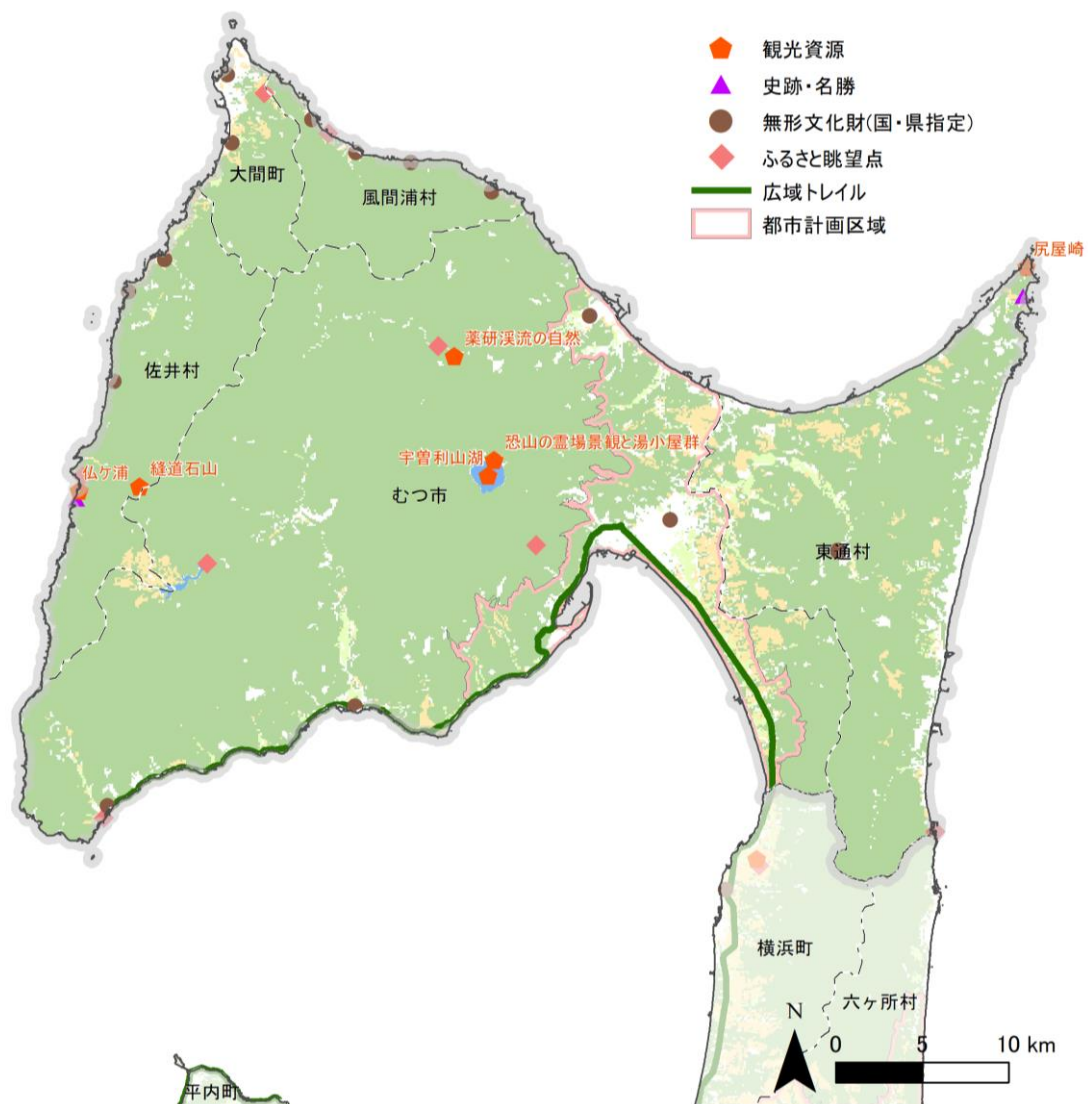
②生物の生息・生育

- ・下北半島は貴重な地質や地形を有することから、その全域が下北ジオパークとして日本ジオパークに認定されているほか、恐山山地や仏ヶ浦をはじめとする西部の海岸、大間崎、尻屋崎などの多様で豊かな自然環境が下北半島国定公園に指定されています。
- ・山地ではヒバとブナの混合林がみられるほか、主にスギ・ヒノキ・サワラ植林やブナ・ミズナラ群落分布しています。
- ・本地域は、サル類の自然分布の最北限となっているほか、国の特別天然記念物であるニホンカモシカやツキノワグマなど多くの生物がみられます。また、地域内には山地、溪流、湖沼、湿地、海岸といった多様な自然環境を有しているため、それぞれの環境に多様な種が生息しています。



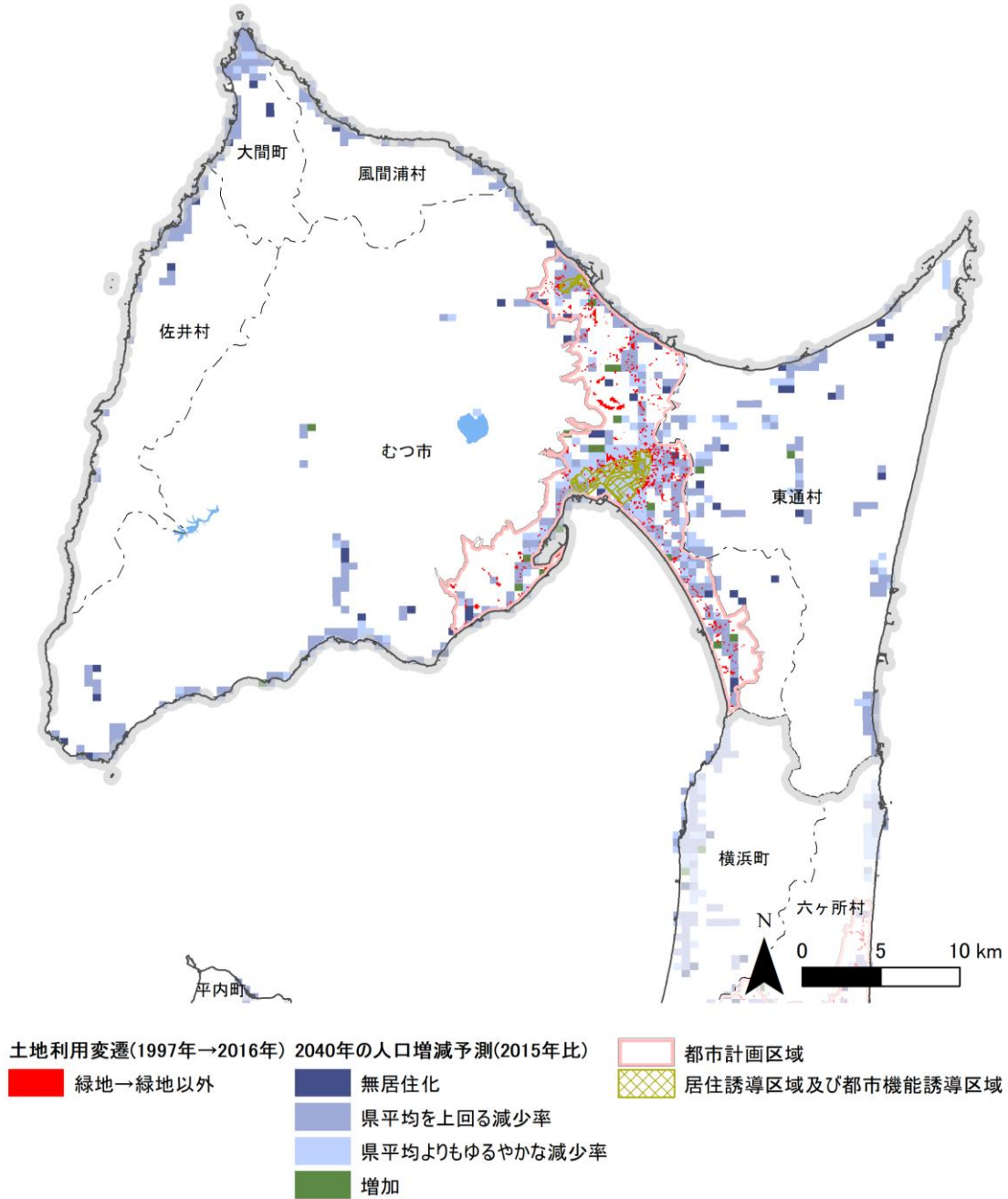
③文化・観光

- ・大畑川上流部をはじめとする地域内の各地では、豊かな資源を活かしたヒバ材の産出が盛んに行われてきました。
- ・かつて恐山の修験山伏が舞っていたものが各村々の農漁民の間に普及し、地域の生活に密着して伝承されてきた下北の能舞は国の重要無形民俗文化財に指定されています。
- ・恐山山地の薬研渓流や宇曾利湖、縫道石山といった自然環境は観光資源となっています。
- ・岩場が広がる地形が特徴的な尻屋崎の周辺では「寒立馬」と呼ばれる馬が放牧されており、観光にも活用されています。



④人口の増減予測地点

- ・居住誘導区域周辺では、県平均に比べて緩やかな人口減少が予想されており、一部では人口増加が予想される地点も見られます。その他の海岸沿いの集落では人口減少および無居住化の予想がほとんどとなっています。



2 みどりの取組方向

大部分を占めるヒバ、ブナ林を保全し、変化に富む海岸や溪流、湿地等多様な自然環境を、高い自然性との調和に配慮しながら観光振興等に活用します。また、海沿いの限られた平地に位置する市街地では、周辺の水田や牧野を自然とふれあう場として活用します。

